

《 第 5 期 》
え び の 市
こども読書活動推進計画
(案)

(推進期間：令和8～12年度)



えびの市子ども読書活動
推進シンボルマーク

令和8年3月
えびの市教育委員会

目 次

第1章 計画の概要	1
I 経緯と目的	1
II 計画の期間	2
第2章 基本方針	2
I 家庭、地域、学校等におけるこどもの読書活動の推進	
II こどもの読書活動推進のための諸条件の整備・充実	
III こどもの読書活動に関する関係機関の連携及び広報・啓発	
第3章 えびの市のこどもの読書活動の現状	3
第4章 こどもの読書活動推進の取組	10
【体系図】	10
基本方針Ⅰ 家庭、地域、学校等におけるこどもの読書活動の推進	11
(1) 家庭におけるこどもの読書活動の推進	11
(2) 地域におけるこどもの読書活動の推進	12
(3) 幼稚園・保育園・認定こども園・地域子育て支援センター ・放課後児童クラブにおけるこどもの読書活動の推進	12
(4) 小・中・高等学校におけるこどもの読書活動の推進	13
基本方針Ⅱ こどもの読書活動推進のための諸条件の整備・充実	15
(1) 市民図書館における諸条件の整備・充実	15
(2) 学校図書館における諸条件の整備・充実	16
基本方針Ⅲ こどもの読書活動に関する関係機関の連携及び広報・啓発	18
第5章 数値目標	20
用語解説	22
《資料編》	24
資料1 読書活動に関するアンケート調査結果	25
資料2 えびの市読書活動の実施状況（令和6年度）	52
資料3 学校図書館蔵書数等	52
資料4 移動図書館車運行スケジュール	52
資料5 市民図書館蔵書数及び貸出の状況	53
資料6 宮崎県の児童生徒の不読率	55
資料7 子どもの読書活動の推進に関する法律	56
資料8 子どもの読書活動の推進に関する法律案に対する附帯決議（衆議院）	58
資料9 えびの市子ども読書活動推進委員会設置要綱	59
資料10 えびの市子ども読書活動推進委員名簿	60

第1章 計画の概要

I 経緯と目的

こども※1の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠かせないものであり、家庭や学校、地域などが一体となって、そのための環境の整備を推進していくことが重要です。

今日、インターネットやスマートフォン等の様々な情報メディアの発達・普及により、こどもを取り巻く生活環境が大きく変化しています。情報メディアから多くの恩恵を受ける一方、人と人との直接的なふれあいやコミュニケーションの機会が減ってきていると言われています。活字離れ、読書離れが進むことで、こどもたちの表現力や想像力に影響を及ぼすことが懸念されています。

国は、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関し基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにする」とともに、「子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資すること」を目的として「子どもの読書活動の推進に関する法律」（以下「推進法」という。）を制定しました。

また、推進法第8条第1項の規定に基づき、平成14年8月に、全てのこどもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を積極的に推進することを基本理念とする最初の基本計画を定め、その後おおむね5年ごとに計画を変更し、現在は令和5年3月に第五次基本計画を定めています。

宮崎県では、平成16年3月、県内のこどもの読書活動の施策を総合的に推進するため、宮崎県子ども読書活動推進計画を定め、平成23年3月には、更なる読書活動の推進を図るため、第二次宮崎県子ども読書活動推進計画、そして、読書を取り巻く環境変化や第二次の成果と課題、県内の有識者で構成する「宮崎県生涯読書活動推進委員会」での議論等に基づいて、「日本一の読書県」づくりに向けた基本的な考え方や方向性をより明確にした総合的な施策を、市町村や企業、民間団体等との連携・協力により県民総ぐるみで推進するため、平成30年度から令和9年度までの10年間を期間とする「宮崎県生涯読書活動推進計画」が策定され、さらに令和元年の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」と翌年策定された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」を踏まえ、令和5年に一部改正が行われています。

本市においても、平成17年11月に「えびの市子ども読書活動推進計画」を策定し、更に第2期を平成23年3月、第3期を平成28年3月、第4期を令和3年3月に策定し、家庭、地域、学校、行政が連携協力しながら様々な取組を行ってきました。今回、この計画の期間が令和8年3月をもって満了となることから、これまでの成果と課題を検証し、本市の読書好きなこどもの育成とそのための読書環境の充実を目指して、令和7年6月に「読書活動に関するアンケート」を実施し、この結果も踏まえ「第5期えびの市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

注)※1「こども」～※17「ひなたライブラリー」までの用語については、P21～22で用語解説を記載しています。

Ⅱ 計画の期間

本計画は、令和8年度から令和12年度までの5年間の計画とします。なお、必要に応じて見直しを行います。

第2章 基本方針

本市では、これまでの取り組みの成果や課題、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」や「宮崎県生涯読書活動推進計画」の趣旨を踏まえ、以下の基本方針に沿ってこどもの読書活動の推進に取り組むこととします。

I 家庭、地域、学校等におけるこどもの読書活動の推進

こどもの自主的な読書の推進には、こどもが読書の楽しさを知るきっかけづくりや、読書活動を広げるような機会を提供する環境づくりが大切です。そのためには、家庭、地域、学校等それぞれが担う役割を果たしながら、相互に連携・協力を図り、こどもの自主的な読書活動を推進する社会全体での取組を行うとともに、必要な体制づくりに努めます。

Ⅱ こどもの読書活動推進のための諸条件の整備・充実

こどもの読書活動を支えるには、こどもが日常的に本と出会う場である市民図書館や学校図書館における読書環境の充実が必要であり、学校図書館への市民図書館の司書※2の支援や図書等が十分整備され、こどもがいつでも利用できるような体制づくりが大切です。

こどもの興味・関心を尊重しながら、自ら読書に親しみ、進んで読書習慣を身に付け、自主的な読書活動を行うことができるよう、市民図書館や学校図書館における読書環境の整備と充実に努めます。

Ⅲ こどもの読書活動に関する関係機関の連携及び広報・啓発

こどもの読書活動を推進するには、読書活動の意義や重要性について、広く普及させるための取組や広報を充実していくことが必要です。

そのためには、家庭、地域、学校等をはじめとする関係機関、団体、事業者等が相互に連携を図り、協力し、広報・啓発に努めます。

第3章 えびの市のこどもの読書活動の現状

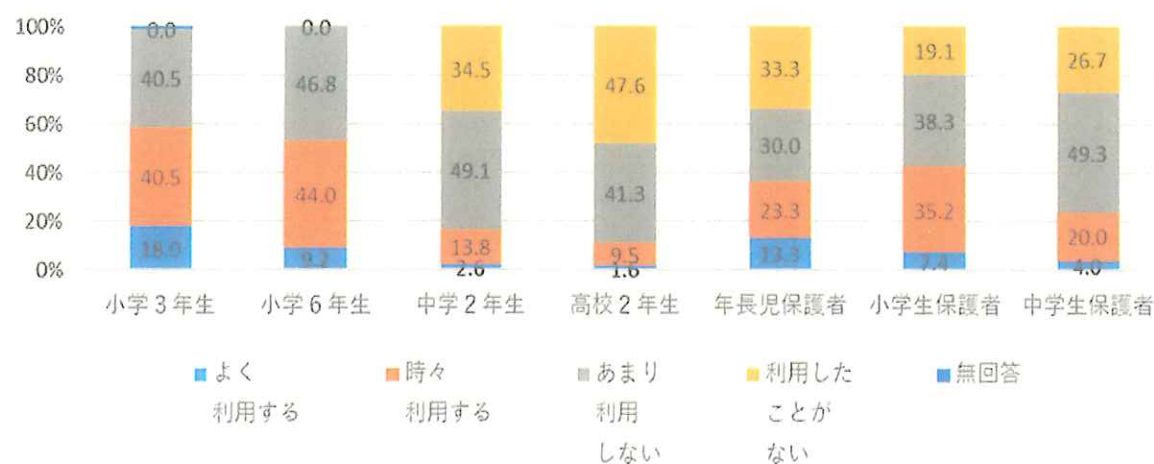
本市のえびの市民図書館（以下「市民図書館」という。）は、平成26年度から、新たな指定管理者の運営を開始し、市文化センター、市歴史民俗資料館とともに、教育・文化の拠点「文化の杜」として、様々なイベントを開催するとともに、施設の整備・充実を図っています。

こどもの読書活動の状況について、令和7年6月に実施した読書活動に関するアンケートによると、「市民図書館の利用について」（表1）では、小学生3年生では「時々利用する」「あまり利用しない」がともに40.5%で最も多く、小学6年生の46.8%、中学2年生の49.1%が「あまり利用しない」と回答し最も多くなっています。高校2年生になると47.6%が「利用したことがない」と回答しています。

（表1）市民図書館の利用について（移動図書館を含む。）

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
よく利用する	20	18.0	13	9.2	3	2.6	1	1.6	4	13.3	12	7.4	3	4.0
時々利用する	45	<u>40.5</u>	62	44.0	16	13.8	6	9.5	7	23.3	57	35.2	15	20.0
あまり利用しない	45	<u>40.5</u>	66	<u>46.8</u>	57	<u>49.1</u>	26	41.3	9	30.0	62	<u>38.3</u>	37	<u>49.3</u>
利用したことがない	-	-	-	-	40	34.5	30	<u>47.6</u>	10	<u>33.3</u>	31	19.1	20	26.7
無回答	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

市民図書館の利用



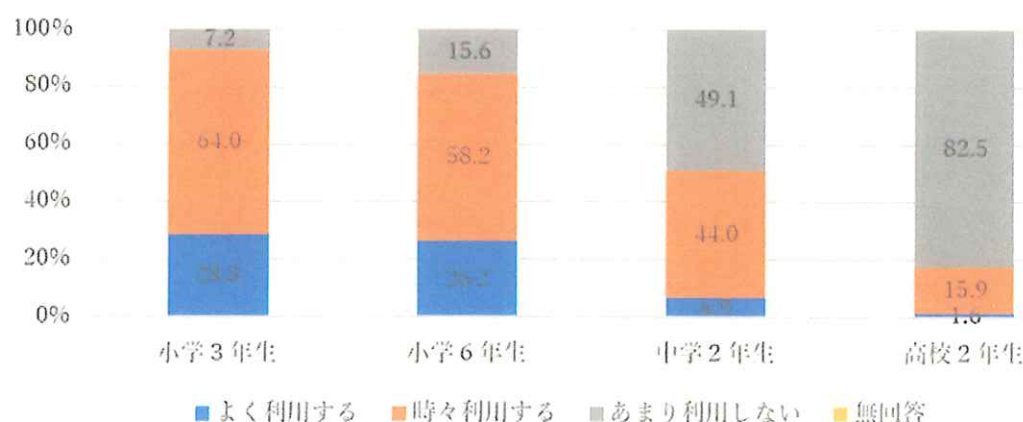
令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

また、「学校図書館の利用について」（表2）では、小学生は、「時々利用する」が最も多く、「よく利用する」と合わせると小学3年生では92.8%、6年生では84.4%でした。中学2年生になると49.1%が「あまり利用しない」と回答しています。高校2年生になると、「あまり利用しない」が最も多く80%以上を占め、「よく利用する」と「ときどき利用する」を合わせると20%未満になっています。市民図書館・学校図書館ともに中学生・高校生と校種が進むにつれ、図書館等を利用する機会が少なくなっています。全国的にも年齢とともに読書離れは増加傾向を示すなど、特に中学生・高校生の読書離れが顕著になっています。

（表 2）学校図書館の利用について

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
よく利用する	32	28.8	37	26.2	8	6.9	1	1.6
時々利用する	71	<u>64.0</u>	82	<u>58.2</u>	51	44.0	10	15.9
あまり利用しない	8	7.2	22	15.6	57	<u>49.1</u>	52	<u>82.5</u>
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

学校図書館の利用



令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

このことから、こどもたちに魅力ある本との出会いを様々な方面から提供するとともに、本を読まないこどもを減少させ、特に中学生・高校生に向けて、読書のおもしろさと楽しさを味わわせるような指導が求められます。

同様に、小・中・高校生の「1週間当たりの平均読書冊数」（表3）によると、平均読書冊数についても、校種が進むにつれて減少しています。

「読まない理由」については、「興味がない」と回答した生徒がほとんどでした。1週間に1冊も本を読まない「不読者」の割合（不読率）は、小学3年生3.6%、小学6年生16.3%、中学2年生31.9%、高校2年生9.5%でした。県の令和6年度学校図書館及び読書に関する調査でも1か月間に1冊も本を読まな

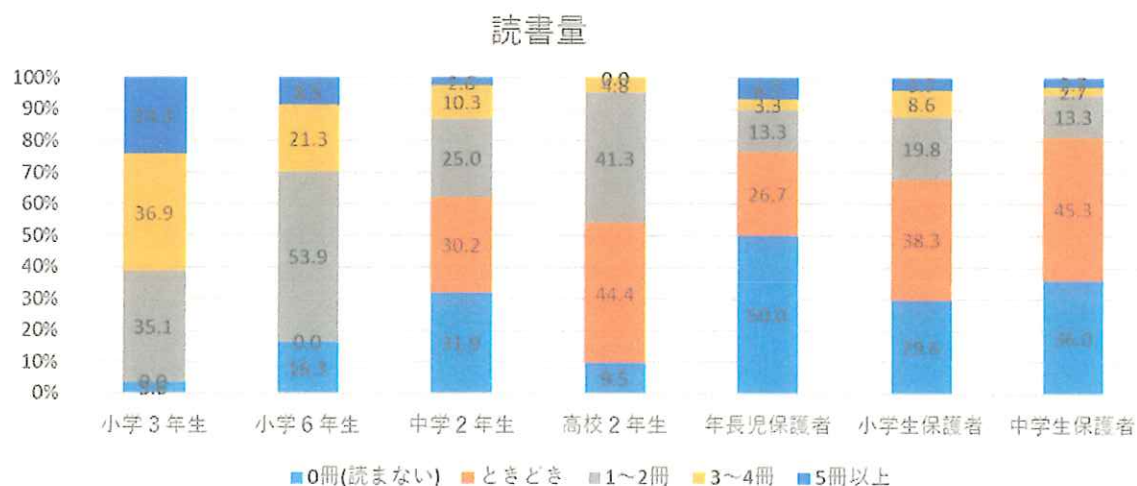
かった不読率は、小学生4.2%、中学生26.4%となっています。全国の令和6年度（社）全国学校図書館協議会学校読書調査でも同様の傾向が見られます。

（表3）1週間当たりの平均読書冊数（※保護者は1ヶ月当たり）

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
0冊 (読まない)	4	3.6	23	16.3	37	<u>31.9</u>	6	9.5	15	<u>50.0</u>	48	29.6	27	36.0
ときどき	-	-	-	-	35	30.2	28	<u>44.4</u>	8	26.7	62	<u>38.3</u>	34	<u>45.3</u>
1～2冊	39	35.1	76	<u>53.9</u>	29	25.0	26	41.3	4	13.3	32	19.8	10	13.3
3～4冊	41	<u>36.9</u>	30	21.3	12	10.3	3	4.8	1	3.3	14	8.6	2	2.7
5冊以上	27	24.3	12	8.5	3	2.6	0	0.0	2	6.7	6	3.7	2	2.7
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

1週間

 1か月



令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

一方「読書は好きですか。」（表4）の調査で「きらい」を比較すると、小学3年生までは0%、6年生で5%、中学2年生で8.6%、高校2年生で4.8%となっています。また、「読み聞かせは好きですか。」（表5）でも小学3年生は「きらい」が0%、小学6年生は12.1%となっていて、読書や読み聞かせが嫌いではないことが分かります。

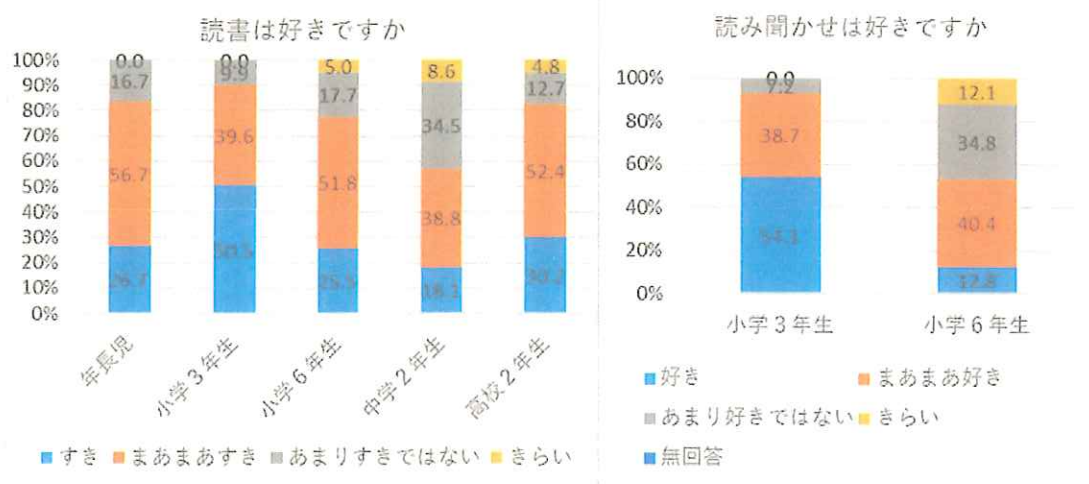
(表4) 読書は好きですか。

項目	年長児		小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
すぎ	8	26.7	56	<u>50.5</u>	36	25.5	21	18.1	19	30.2
まあまあ すぎ	17	<u>56.7</u>	44	39.6	73	<u>51.8</u>	45	<u>38.8</u>	33	<u>52.4</u>
あまりすぎ ではない	5	16.7	11	9.9	25	17.7	40	34.5	8	12.7
きらい	0	0.0	0	0.0	7	5.0	10	8.6	3	4.8

令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

(表5) 読み聞かせは好きですか。

項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
好き	60	<u>54.1</u>	18	12.8
まあまあ好き	43	38.7	57	<u>40.4</u>
あまり好きではない	8	7.2	49	34.8
きらい	0	0.0	17	12.1
無回答	0	0.0	0	0.0



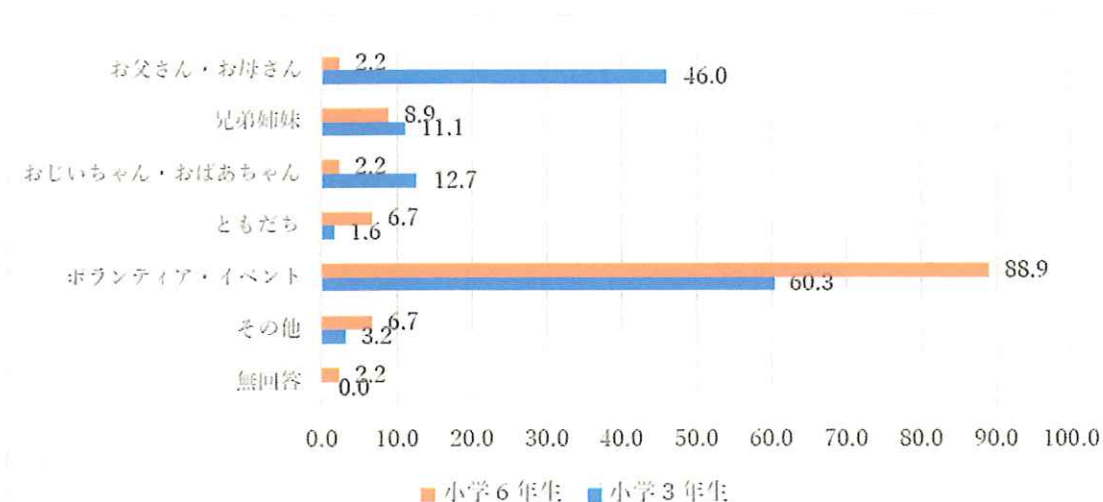
令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

「読み聞かせは誰にしてもらっていますか。」(表6)の設問では、小学3年生の60.3%、小学6年生の88.9%が「ボランティア・イベント」と回答し、「お

父さん・お母さん」を大きく上回っています。このことから読み聞かせボランティアの活動が非常に重要であることがわかります。

(表 6) 読み聞かせは誰にしてもらっていますか。

項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
お父さん・お母さん	29	46.0	1	2.2
兄弟姉妹	7	11.1	4	8.9
おじいちゃん ・おばあちゃん	8	12.7	1	2.2
ともだち	1	1.6	3	6.7
ボランティア・イベント	38	<u>60.3</u>	40	<u>88.9</u>
その他	2	3.2	3	6.7
無回答	0	0.0	1	2.2



令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

このような結果から、幼少の頃は、身近にある本や読み聞かせに興味を示していても、成長とともに子どもを取り巻く生活環境等により、読書量が減少していくことが分かります。特に中学生や高校生の年代は、勉強や部活動が忙しくなり、読書活動に時間を割く余裕がなくなり、また、読書以外のインターネットやゲームなどの遊びを楽しむ割合が大きくなる傾向にあります。読書のお

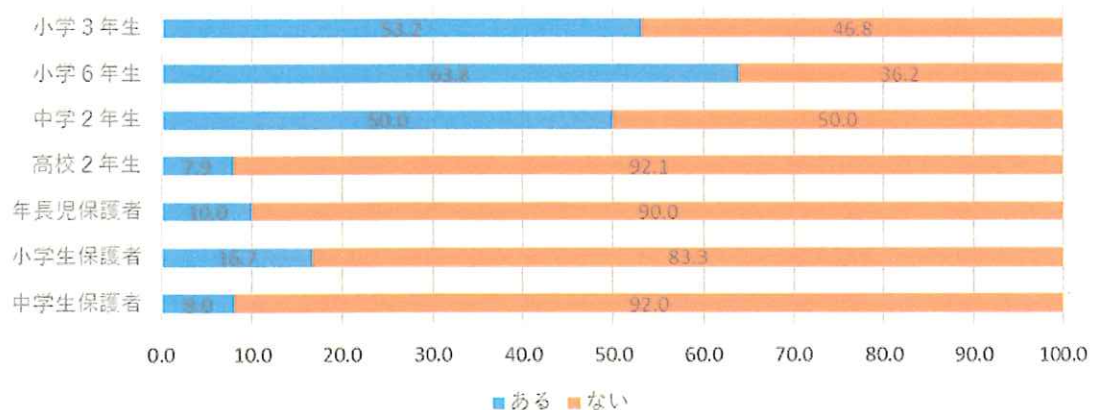
もしろさと楽しさを伝えられるよう、その世代に応じた魅力ある図書の積極的な情報発信が重要になってきます。

また、政府全体でデジタル化の取組がなされており、学校教育現場においてもGIGAスクール構想、ICT環境整備といったデジタル化が推し進められています。こどもたちの読書活動においても、紙書籍の親和性や重要性、こどもたちの健康への配慮に鑑みながら、適切な段階で電子図書等の利用を進めていくことが重要になってきています。

そのような中で市民図書館では令和6年7月から、宮崎県立図書館では令和6年9月から、電子図書館サービスが開始されました。市民図書館も県立図書館も市内の小中高校生と教職員に電子図書館利用IDが発行され、市民図書館の利用者カードをもっていないこどもでも、図書館が遠いこどもでも、インターネットのできるパソコンやタブレット等があれば、読書に親しむことができる環境が整っています。しかし、読書活動に関するアンケートの「電子図書館を利用したことがありますか」（表7）の設問で「ある」と答えたのは、小学3年生で53.2%、小学6年生で63.8%、中学2年生で50.0%、高校2年生ではわずか7.9%という結果でした。今後は利用方法の周知や、学校の授業等での利活用の支援が必要です。

（表7）電子図書館を利用したことがありますか。

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
ある	59	<u>53.2</u>	90	<u>63.8</u>	58	<u>50.0</u>	5	7.9	3	10.0	27	16.7	6	8.0
ない	52	46.8	51	36.2	58	<u>50.0</u>	58	<u>92.1</u>	27	<u>90.0</u>	135	<u>83.3</u>	69	<u>92.0</u>



令和7年度「読書活動に関するアンケート」より

さらに、それぞれの団体や施設が目的や対象に応じて事業を実施する中で、こどもの読書活動を推進していくことが求められます。

第4期えびの市子ども読書活動推進計画の数値目標の実績（表8）については、令和6年度の市民図書館における児童書数は、96.7%で目標値には届いていませんが、団体貸出（表9）については、100.3%と達成している状況となりました。

(表 8) 第 4 期えびの市子ども読書活動推進計画の数値目標と実績
【市民図書館における児童書の充実】

	令和元年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標値(冊)	-	40,900	41,400	41,900	42,400	43,200
児童書の 蔵書数(冊)	(実績) 40,840	39,796	40,320	40,011	41,001	-
達成率(%)	-	97.3%	97.3%	95.4%	96.7%	-

※目標値は第 4 期えびの市子ども読書活動推進計画において、令和元年度末蔵書数等を基礎として設定した数値目標。

※絵本、紙芝居の蔵書を含む。また、令和 6 年度の蔵書数には電子図書館の児童書を含む。

(表 9) 第 4 期えびの市子ども読書活動推進計画の数値目標と実績
【市民図書館における団体貸出※3の拡大】

	令和元年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標値(冊)	-	28,600	29,100	29,600	30,100	30,600
団体貸出数 (冊)	(実績) 28,101	27,085	29,254	28,100	30,186	-
達成率(%)	-	94.7%	100.5%	94.9%	100.3%	-

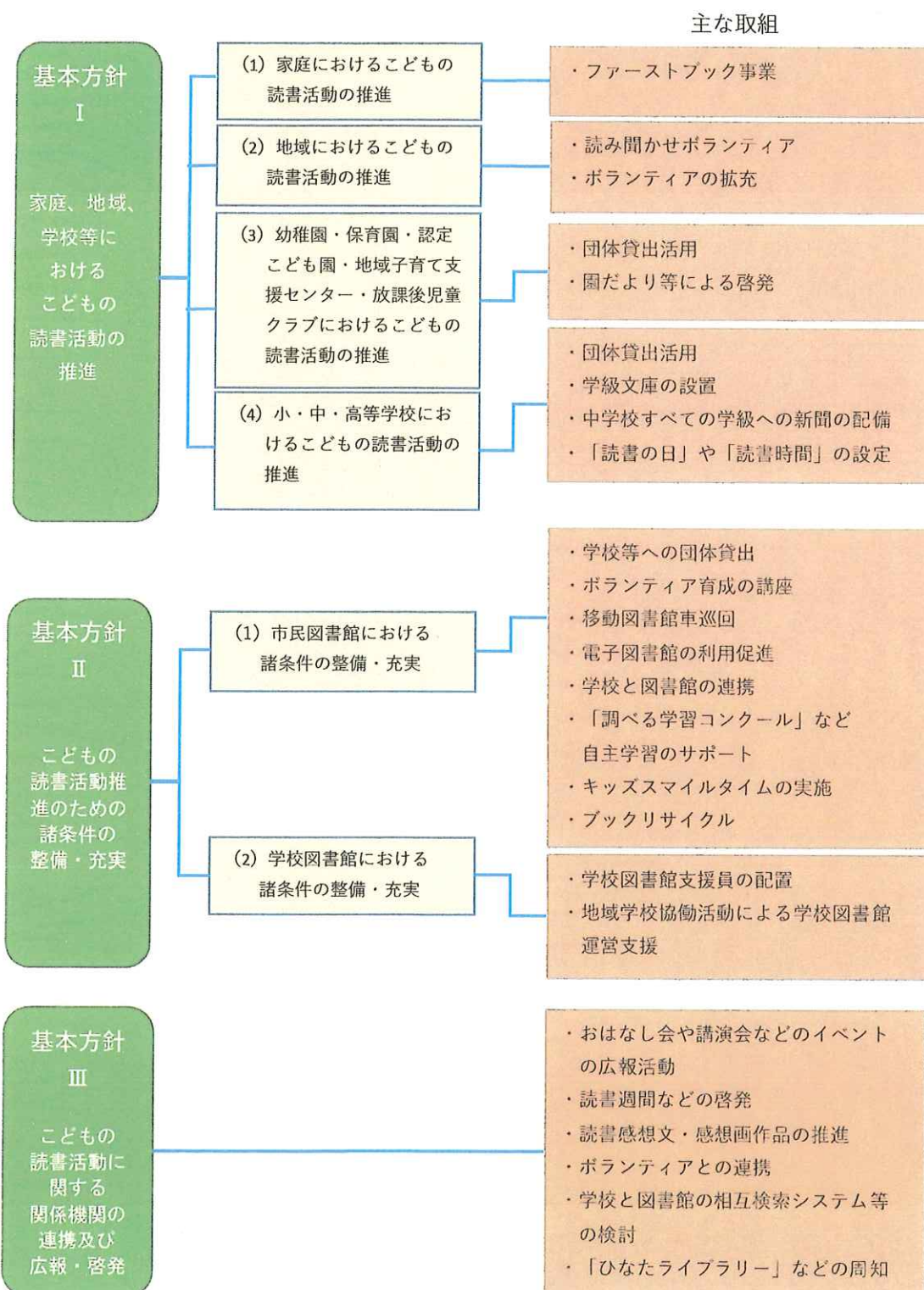
※目標値は第 4 期えびの市子ども読書活動推進計画において、令和元年度末実績を基礎として、定めた数値目標。

第4章 こどもの読書活動推進の取組

【体系図】

第5期 えびの市こども読書活動推進計画

目的 こどもの読書環境の充実～読書好きなこどもを増やそう～



基本方針Ⅰ

家庭、地域、学校等におけるこどもの読書活動の推進

(1) 家庭におけるこどもの読書活動の推進

こどもの読書習慣は、日常の生活を通し形成されるものであり、家庭の中で読み聞かせをしたり、こどもと一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりするなど、こどもが本と出会うきっかけをつくる必要があります。読書に対する興味や関心を引き出すことで、本の楽しさを知ったこどもは、やがて自分で本を読む喜びを見出し、習慣化されていくと考えられます。また、読書を通じて家族で感じたことや考えたことを話し合ったりするなど、家庭における読書活動の取組は家族間のコミュニケーションを深めることにもつながるものであり、子育ての楽しさを実感し、保護者自身が読書の楽しさを知り、読書に親しむ機会を得ることができると期待されます。

【課題】

家庭におけるこどもの読書活動への働きかけは、まだ十分ではない状況も見られます。また、保護者からは、家庭で読み聞かせを行う際、「本の選び方がわからない」、「読み聞かせの仕方がわからない」といった声も聞かれます。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	こどもが本の楽しさを知り、読書が習慣となるよう、乳幼児期から家庭での読み聞かせなど読書活動を推進します。	社会教育課 こども課 市民図書館
②	母子保健事業や子育て支援などの機会を通じ、保護者に乳幼児期の本とのふれあいの大切さを啓発していきます。	こども課 社会教育課
③	各種事業を通じて、電子メディアの適切な利用について啓発していきます。	こども課 社会教育課 小中高等学校
④	家庭での読み聞かせや、こどもが自主的に読書をする際の参考となるようこどもの発達の段階に応じたおすすめ本のリストを作成・配布し、家庭での読書活動を支援します。	こども課 市民図書館
⑤	幼少期における本との出会いの場として、保健センターでは絵本を設置し、6か月児健康相談でボランティアによる絵本の読み聞かせを行います。	こども課 ボランティア
⑥	親子で本を開く楽しさを伝える「ファーストブック事業※4」に取り組みます。	こども課 市民図書館
⑦	家庭教育学級、PTA、まちづくり協議会等と連携し、親も読書に親しみ、家族で読書する時間をつくり、親子で読書を楽しむ活動を推進します。	社会教育課
⑧	本に出会うきっかけづくりとして市民図書館で「おはなし会※5」等の行事を実施します。	市民図書館 ボランティア

(2) 地域におけるこどもの読書活動の推進

地域には、こどもに本の楽しさを伝えたいと活動しているボランティアグループがあります。地域学校協働活動事業をはじめ、学校や市民図書館、地域子育て支援センター等で、読み聞かせや紙芝居などを行い、こどもたちに本の楽しさを伝えています。読み聞かせボランティアの活動は非常に重要であり、大きな期待が寄せられます。

【課題】

市内のボランティアグループの数が十分ではないため、活動が限られてしまっています。保護者等による読み聞かせなどのボランティアグループも出てきていますが、さらなる活動が望まれます。今後、さらに地域の読書活動を推進するためには、ボランティアグループのネットワークづくりが必要です。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	地域学校協働活動事業など、ボランティアの拡大を図ります。	社会教育課
②	ボランティア活動の普及と、継続的な活動が推進されるような必要な支援を行います。	社会教育課
③	ボランティア相互の交流や情報交換などを行うためのネットワークを構築します。	社会教育課 市民図書館 ボランティア
④	こどもの読書に関わる情報や読み聞かせの研修など、知識や技術を得る機会を提供します。	社会教育課 市民図書館
⑤	県と市で連携した読み聞かせ養成研修会等を開催し、読み聞かせに必要なスキル（選書や発声）の向上、情報交換を支援します。	社会教育課

(3) 幼稚園・保育園・認定こども園・地域子育てセンター・放課後児童クラブにおけるこどもの読書活動の推進

幼稚園・保育園・認定こども園は、家庭とともにこどもの人間形成の基礎を培う大切な場所です。こどもたちは一日の多くの時間を過ごす幼稚園・保育園・認定こども園で、色々な遊びや本などとの出会いを通して、言葉を育み、表現力や想像力を高め、豊かな心をやしなっていきます。

幼児期の好奇心や探求心を高めるために読み聞かせなど、多くの絵本等に出会える環境をつくることが望まれます。読み聞かせなどの豊かな読書体験を通してこどもたちが絵本に親しめる機会の提供と充実が求められています。

地域子育て支援センターや放課後児童クラブでは、施設で過ごす時間を有効に活用した読書に親しめる環境の整備が期待されています。

また、幼稚園・保育園・認定こども園・子育て支援センター等での読書体験が家庭での読書につながることも期待されます。

【課題】

- 幼稚園・保育園・認定こども園や子育て支援センター等における絵本などの蔵書数はまだ十分とはいえない状況があります。
- 研修等による知識・技術の向上が求められます。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	絵本などの充実を呼びかけるとともに、市民図書館の団体貸出の活用を奨励し、こどもたちが日常的に本と親しめる機会の充実を図ります。	市民図書館 幼稚園・保育園・ 認定こども園
②	こどもの読書活動に関する研修会や講演会等の参加を促します。	幼稚園・保育園・ 認定こども園
③	「園だより」等を通じ、保護者に対し読み聞かせなどの家庭での読書活動の大切さや意義を広く発信します。	幼稚園・保育園・ 認定こども園

(4) 小・中・高等学校におけるこどもの読書活動の推進

学校はこどもたちが一日の多くを過ごす場所であり、読書活動に大きな影響を与えます。教師の働きかけによってこどもが本に親しむ機会を設けることで、読書習慣を確かなものへ形成していくことが求められます。

こどもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するため、学校においては、こどもが自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるような環境を整備し、適切な支援を行うことが重要です。全てのこどもの読書活動を支援し、読書指導を充実することにより、読書の量を増やすことのみならず、読書の質をも高めていくことが学校に求められる役割であるため、学習指導要領※6等を踏まえた積極的な読書活動の推進に取り組むことが必要です。

【課題】

- こどもの読書活動を推進するためには、読書の時間や機会の確保と、こどもの読書意欲を高める指導の充実が必要です。
- 活字離れや本に興味を示さないこどもに、読書の楽しさをどう感じさせていくかが課題となっています。特に読書離れが進む中学生・高校生の世代に関して、読書活動を促す取組を更に進めることが重要です。
- 小学校ではボランティアグループによる読み聞かせが定期的に行われていますが、中学校ではボランティアによる読み聞かせが実施できていません。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	読書の時間や機会を確保するため、朝の読書や読書週間の取組など読書活動を学校の教育課程に位置づけ、年間を通じ学校全体での読書活動に取り組みます。	学校教育課 小中高等学校

②	ボランティアグループとの連携による定期的な読み聞かせに取り組めます。	ボランティア 小中学校
③	読書講演会や読書感想文・感想画コンクールなどへの参加を通して、読書に対する意欲の高揚を図ります。	学校教育課 市民図書館 小中高等学校
④	司書教諭をはじめ、全教職員がこどもの読書活動の重要性について、共通した認識で読書指導が図られるよう研修の機会を設けます。	学校教育課 小中高等学校
⑤	日常的にこどもに接する教職員からの本の紹介やおすすめは、児童生徒への影響が大きく、読書へのきっかけになると期待されることから、教職員からの本の紹介を推進します。	学校教育課 小中高等学校
⑥	各学校で、推薦図書コーナーを設置したり、読書の時間を確保したりすることで、読書の習慣化を図ります。	小中高等学校
⑦	学級文庫の設置等により、より身近に、より多くの本に親しめる環境を整備します。	小中高等学校
⑧	「読書の日」を設定し、読書の大切さや楽しさを伝えていく取組を推進します。	小中高等学校
⑨	障がいのあるこどもが、進んで読書に親しみ、豊かな読書活動のできる環境を整備します。	学校教育課 小中高等学校 市民図書館
⑩	こどもの読書のきっかけとして、図書委員会等を中心にこどもが主体となって、こどもたちが相互に図書の紹介や読み聞かせ、読書を広める企画をするなど様々な読書活動の工夫を推進します。	学校教育課 小中高等学校
⑪	「未来をになう子ども達に新聞を」運動を活用し、市内中学校のすべての学級に新聞を配備します。また、市内小学校へも運動を拡大します。	学校教育課 小中学校
⑫	新入生への図書館オリエンテーションなどによる読書活動の推進を行います。	高等学校

基本方針Ⅱ

こどもの読書活動推進のための諸条件の整備・充実

(1) 市民図書館における諸条件の整備・充実

市民図書館は、こどもたちがたくさんの本と出会い、読書の楽しみを発見できる場所です。また、学習に必要な情報を提供する場所でもあるため、たくさんの本を集め、調べものや自由に本が読めるサービスを行っています。さらに、県立図書館や県内の公立図書館との相互貸借により、専門書などの貸出を行い市民の要望に応じています。このように読書活動を推進する上で市民図書館は重要な役割を担っています。

【課題】

- 蔵書を適宜見直し、こどものニーズや発達の段階に応じた図書資料の充実を図ることが必要です。
- こどもが乳幼児から本に親しみ、読書を楽しむようになるために、児童書コーナーの充実や、親子でも利用しやすい市民図書館づくりが求められています。
- 職員の専門性を一層向上させることが必要です。
- 市内どこの地域においても、こどもが本に親しめる環境整備のため、移動図書館車による巡回サービスや電子図書館を行っています。またサービス自体が知られていなかったり、利用方法の周知が不足しています。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	こどもの発達の段階に応じた図書の収集・整備に努め、読書の普及を図ります。	市民図書館
②	本の楽しさを伝え、読書のきっかけづくりや読書に対する意欲の向上などを行うため、こどもを対象にした「読み聞かせ・おはなし会」を、高校生も含むボランティアグループと連携して実施します。	市民図書館 ボランティア
③	こどもたちの成長に応じた本を定期的に提供し、より多くの本に接する機会の充実のため、学校、幼稚園、保育園、認定こども園などへの団体貸出を実施します。	市民図書館
④	授業や行事等で使いたい本がある場合の追加配本リクエストサービスの利用拡大を図ります。	市民図書館
⑤	おはなし会や読み聞かせ活動、 <u>えびタンバック※7</u> などの未就学児童が本に触れる機会を推進します。	市民図書館
⑥	ボランティア育成のため、市内の高校生への「読み聞かせ講座」を要望に応じて開催します。	市民図書館
⑦	調べものやほしい本が見つからないとき、 <u>レファレンス・サービス※8</u> などの支援を行います。	市民図書館

⑧	市民図書館から遠距離に居住するこどもの読書活動を推進するため、移動図書館車の積載内容及び巡回の充実を図ります。	市民図書館
⑨	学校等と連携して電子図書館を周知します。	市民図書館 小中学校
⑩	えびの市電子図書館の読み放題パック※9については、こどもたちの志向を反映できるよう、学校と連携して選書を行います。また、学校からの要望に応じて電子図書館の利用支援を行います。	市民図書館 学校教育課 社会教育課 小中学校
⑪	親子で気軽に利用できる雰囲気づくりに努めるとともに、図書館行事（講演会、読書感想文・感想画作品展・読者参加型イベント等）の内容を充実し、保護者やこどもの読書への関心の高揚と読書の啓発・普及を図ります。	市民図書館
⑫	市民図書館職員等が市内の学校図書館を巡回し、選書や配架などの読書に興味を持ってもらう取組みの紹介など、学校の要望に応じ図書館司書による必要な支援を行います。	市民図書館 学校教育課 社会教育課 小中学校
⑬	障がいのあるこどもが、進んで読書に親しみ、豊かな読書活動のできる環境を整備します。【再掲】	市民図書館 学校教育課 小中高等学校
⑭	図書館司書の専門的知識・技術の向上のため研修の充実を図ります。	市民図書館
⑮	市民図書館と各学校間の蔵書を相互に検索できるシステムの整備等を検討します。	市民図書館 学校教育課 社会教育課
⑯	「図書館を使った調べる学習コンクール※10」の取組により、読書だけでない本を使って調べるといった自己学習のためのサポートを実施します。	市民図書館
⑰	こども連れでも利用しやすい環境づくりのため「キッズスマイルタイム」※11を実施します。	市民図書館
⑱	除籍本等を無料で提供するブックリサイクル※12を実施し、身近に本がある生活を支援します。	市民図書館

（２）学校図書館における諸条件の整備・充実

学校図書館は、こどもの自由な読書活動や読書指導の場として、また、創造力を培い、学習に対する興味・関心等と呼び起こし豊かな心を育む読書センターとしての機能と、こどもの自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する学習情報センターとしての機能を果たしています。学校教育の中核的な役割を担うことが期待されており、児童生徒の様々な学習活動を支援する機能を果たすことが求められています。

【課題】

- 市内小中学校全体で見ると学校図書館の蔵書数は学校図書館図書標準※13に達していますが、学校図書館が、こどもや教師にとって魅力ある学校図書館として活用され、その機能を果たすには、蔵書を適宜見直し、こどものニーズや発達の段階に応じた図書資料の充実を図ることが必要です。
- 学校教育課では学校図書館支援員1名を配置し、学校図書館の運営支援をしていますが、十分とは言えません。こどもたちが、読書に親しみ、更に読書活動を発展させるためには、学校図書館の資料の充実と学校司書などの配置、学校図書館支援員の拡充が望まれます。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	こどもにとって魅力的な本及び、総合的な学習の時間や教科に役立つ図書の整備・充実を図ります。	学校教育課 小中学校
②	学校図書館をこどもたちがいつでも利用できるよう、環境整備を推進します。	学校教育課 小中学校
③	図書主任等の研修等の機会の確保を図ります。	学校教育課 小中学校
④	「学校図書館だより」等により、読書についての情報を提供し、読書の普及を図る取組を行います。	小中学校
⑤	市民図書館と各学校間の蔵書を相互に検索できるシステムの整備等を検討します。【再掲】	学校教育課 社会教育課 市民図書館
⑥	絵本や紙芝居、視聴覚資料等、こどもの特性に応じた図書資料の充実を図ります。	学校教育課 小中学校
⑦	学校図書館支援員の拡充や学校図書館運営に必要な支援を県知事等へ要望していきます。	学校教育課 社会教育課
⑧	地域学校協働活動による学校図書館運営の支援も行っていますが、さらなる活用の促進を図ります。	社会教育課

基本方針Ⅲ

こどもの読書活動に関する関係機関の連携及び広報・啓発

こどもの読書活動に関係する機関、団体、ボランティア等の取組に関する情報の収集に努め、市民図書館や学校、幼稚園、保育園、認定こども園など各施設で発行する広報紙等を通じて、広報・啓発を充実していくことが必要です。また、「子ども読書の日※14」をはじめとする「こどもの読書週間※15」や「読書週間※16」を中心としてこどもの読書活動の意義や重要性等についての理解と関心の普及のため、各施設が連携・協力を推進していくことが求められます。

【課題】

○ こども読書活動の意義や重要性、またそれらを啓発したり読書活動を推進するために設定している「子ども読書の日」等の周知を行っているものの、認知度は低い状況にあります。

【推進に向けた取組】

番号	取組内容	取組団体
①	おはなし会や講演会、展示会等の情報を、広報活動（市広報紙や図書館ホームページ、SNS・チラシ等）を通じ、家庭・地域・学校等に提供します。	市民図書館
②	「子ども読書の日」をはじめ、「こどもの読書週間」及び「読書週間」等にあわせた広報・啓発活動を図ります。	社会教育課 市民図書館 小中学校
③	乳幼児健診や就学時健診など、保護者が集まる様々な機会を捉えて、「本のある生活」や「読み聞かせの重要性」について、保護者の理解が深まるよう啓発します。また、読み聞かせの本の選び方や仕方等の情報提供を行います。	こども課 ボランティア
④	こどもの読書活動に関して、優れた取組を行っている学校、団体、個人等の活動内容をホームページに掲載するなど広く周知します。	市民図書館
⑤	市内の各学校と連携した読書感想文・感想画コンクールへの参加を推進します。【再掲】	市民図書館
⑥	ボランティアに対しこどもの読書に関する情報提供や、資料の貸出、活動場所の提供などを支援します。	社会教育課 市民図書館
⑦	市民図書館職員等が市内の学校図書館を巡回し、選書や配架などの読書に興味を持ってもらう取組みの紹介など、学校の要望に応じ図書館司書による必要な支援を行います。【再掲】	市民図書館 学校教育課 社会教育課 小中学校
⑧	市民図書館と各学校間の蔵書を相互に検索できるシステムの整備等を検討します。【再掲】	市民図書館 学校教育課 社会教育課 小中学校

⑨	「ひなたライブラリー※17」が、真幸コミュニティセンターに設置されたことから、気軽に本に出会える場として周知を図っていきます。	社会教育課
---	---	-------

第5章 数値目標

I 読書が好きなこどもの割合

読書活動に関するアンケートにおいて「読書は好きですか」の設問に「好き」または「まあまあ好き」と回答するこどもの割合を各段階で5%以上の上昇を目指します。

項目	年長児	小学3年生	小学6年生	中学2年生	高校2年生
指標値	83.4%	90.1%	77.3%	56.9%	82.6%
目標値	89%	96%	83%	62%	88%

※指標値は「令和7年度読書活動に関するアンケート」結果より算定

II 家庭読書をしている割合

読書活動に関するアンケートにおいて読み聞かせを含む「家庭読書をしていますか」の設問に「はい」と回答する割合を各段階で10%以上の上昇を目指します。

	中学2年生	高校2年生	年長児保護者	小学生保護者
指標値	10.3%	15.9%	50.0%	25.3%
目標値	21%	26%	60%	36%

※指標値は「令和7年度読書活動に関するアンケート」の結果より算定

III 小中学校における読書活動の実施割合

小中学校における一斉読書活動及び外部読み聞かせを全校で実施することを目指します。

	一斉読書活動		外部読み聞かせ	
	実施学校の割合	目標値	実施学校の割合	目標値
小学校	80%	100%	80%	100%
中学校	75%	100%	0%	100%

※実施学校の割合は「令和6年度学校図書館及び読書に関する調査(宮崎県教育庁義務教育課)」より算定

IV 移動図書館車(ブックランド号)の巡回施設の充実

こどもたちが身近に本に出会える場所として移動図書館車(ブックランド号)が巡回する市内の幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校・高等学校の割合を5年後までに50%にすることを目指します。

指標値	令和8年度 目標	令和9年度 目標	令和10年度 目標	令和11年度 目標	令和12年度 目標
26.3%	30%	35%	40%	45%	50%

※指標値は令和6年度実績に基づき、対象施設総数(19か所)に対する巡回実施施設数(5か所)の割合を算定。

V 電子図書館の利用促進

スマホやタブレットはこども達にとっても身近な存在となっており、電子図書館の利用が読書の楽しみや有用性を知るきっかけとなるため、えびの市電子図書館の利用数を令和12年度までに20%以上の増加を目指します。

項目	ログイン数	貸出数	閲覧数
令和6年度 利用実績	5,878	1,606	10,730
令和6年度 年間利用推計値	8,513	2,326	15,541
令和8年度 目標値	8,853	2,420	16,163
令和9年度 目標値	9,195	2,513	16,785
令和10年度 目標値	9,534	2,606	17,406
令和11年度 目標値	9,875	2,699	18,028
令和12年度 目標値	10,216	2,792	18,650

※えびの市電子図書館は令和6年7月23日から運用開始のため、令和6年度の実績÷運用日数252日×365日として年間利用推計値を算出。

用語解説

※1 こども：おおむね18歳以下の者をいう。（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条より）また「こども」の表記は、こども家庭庁の通知に基づき、特別な場合（法令に根拠がある場合や既存の事業名などの固有名詞）を除き「こども」と表記する。

※2 司書：図書館に置かれる専門的職員のこと。

※3 団体貸出：各事業所、学校等の読書活動を行う団体に対して、図書館資料の貸出しを行うこと。

※4 ファーストブック事業：乳幼児期から本に親しめるよう、1歳児健康診断相談の日に全ての赤ちゃんとその保護者にメッセージを伝えながら、5冊より選んでいただいた絵本を図書館より1冊贈る事業。

※5 おはなし会：図書館等のこどもに対するサービスの一つ。こどもと本の世界を結びつける手段として、こどもたちを集めて読み聞かせやストーリーテリング（素語り）などにより、お話を聞かせる集まりのこと。

※6 学習指導要領：学校教育法施行規則に基づき、学校の教育課程の基準として定められているもの。文部科学省告示として官報によって公示される。文部科学省に設けられている教育課程審議会の答申を受けて、小学校、中学校、高等学校別に作成されている。

※7 えびタンバック：乳児・幼児に応じた本の詰め合わせセット（5冊）。

※8 レファレンス・サービス：利用者の質問や相談などに対して、必要な情報や資料等を提供すること。

※9 読み放題パック：電子図書館の蔵書のうち、何人でも同時に閲覧することができるコンテンツ。

※10 図書館を使った調べる学習コンクール：図書館振興財団が主催する事業で、全国の図書館からエントリーし入賞すると、冊子となり全国に配布される。また、電子書籍としても入賞作品を見ることが出来る取り組みも平成27年から行われている。

※11 キッズスマイルタイム：こどもの泣き声などが気になって図書館に行くことを控えてしまいがちな保護者のため、多少の騒ぎ声を出しても大丈夫な空間として児童書コーナーを開放。開放時間は土曜が午前9時～午後7時、日曜、祝日は同5時まで。

※12 ブックリサイクル：市民図書館での役目を終えた図書や市民から寄贈された本や雑誌などを市民に無料でお譲りする事業

※13 学校図書館図書標準：公立の義務教育諸学校において、学校図書館の図書の整備を図る際の目標として設定された蔵書数。

※14 子ども読書の日：平成13年の「子どもの読書活動の推進に関する法律」によって制定されたもので、毎年4月23日をいう。

※15 こどもの読書週間：昭和34(1959)年に始まった「こどもの読書週間」のこと。2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日から5月12日の約3週間に期間が延長された。

※16 読書週間：10月27日から11月9日までの2週間にわたり、読書を推進する行事が集中して行われる期間。

※17 ひなたライブラリー：宮崎県がどこでも本が読める環境づくりのため、県内の公共施設や高齢者施設等に、リサイクル本や県民からの寄贈本等を配架した本棚を設置する事業。

《資料編》

資料1

読書活動に関するアンケート調査結果

1. 調査の目的

本調査は、えびの市の子ども読書活動を推進することを目的に子どもの読書活動の実情を把握するため、「読書活動に関するアンケート」として実施しました。

2. 調査対象者

- ・市内全小学校3年生及び6年生とその保護者
- ・市内全中学校2年生とその保護者
- ・市内高校2年生（1校）
- ・市内の幼稚園、保育園、認定こども園の年長児保護者（9施設）

※対象者及び対象施設は子ども読書活動推進委員会の中で協議しました。

3. 調査項目

	質問内容	対象者						
		小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学 保護者	中学 保護者
問1	好きな本の種類を教えてください。（複数回答可）	○	○	○	○	○	○	○
問2	読書は好きですか。	○	○	○	○	○	○	○
問2-1	お子さんは本が好きですか。					○		
問3	（1週間または1か月）に本を何冊読みますか。	○	○	○	○	○	○	○
問4	読み聞かせは好きですか。	○	○					
問5	読み聞かせをしてもらっていますか。	○	○					
問6	【問5で「はい」と答えた人への質問】 読み聞かせは誰にしてもらっていますか。	○	○					
問7	家庭読書をしていますか。			○	○	○	○	○
問8	【問7で「はい」と答えた人への質問】 家庭読書の中で「読み聞かせ」をしていますか。					○	○	
問9-1	【問8で「はい」と答えた人への質問】 どの程度の頻度で読み聞かせをしていますか。					○	○	
問9-2	【問8で「はい」と答えた人への質問】 いつ読み聞かせをしていますか。					○	○	
問9-3	【問8で「はい」と答えた人への質問】 平日に読み聞かせをする時間帯を教えてください。					○	○	
問9-4	【問8で「はい」と答えた人への質問】 土日に読み聞かせをする時間帯を教えてください。					○	○	
問10	学校の図書館を利用しますか。	○	○	○	○			

	質問内容	対象者						
		小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学 保護者	中学 保護者
問11-1	市民図書館（ブックランド号を含む）を利用しますか。	○	○	○	○	○	○	○
問11-2	市民図書館へは、誰と行きますか。	○	○					
問11-3	市民図書館へは、何（交通機関）で行きますか。	○	○					
問11-4	【問11-1で「よく利用する」「時々利用する」と答えた人への質問】 市民図書館利用の主な目的はなんですか。			○	○	○	○	○
問11-5	【問11-2で「よく利用する」「時々利用する」と答えた人への質問】 市民図書館で開催されているイベントに参加したことがありますか。					○	○	○
問12-1	学校や近所に市民図書館のブックランド号が来たとき、利用しますか。	○	○	○	○	○	○	○
問12-2	【問12-1で利用したことがないと答えた人への質問】 利用したことがない理由はなんですか。	○	○	○	○	○	○	○
問13	市民図書館で行う「おはなし会」や「映画上映会」などのイベントに参加したことがありますか。	○	○					
問14	読書に関するボランティア活動やイベントに参加したことがありますか。			○	○	○	○	○
問15	子どもが読書をするきっかけづくりをしていますか。					○	○	○
問16	親になってから、絵本を自分のために読んでみたいと思うことがありますか。					○	○	○
問17	電子図書館を使ったことがありますか。	○	○	○	○	○	○	○
問18-1	【問17で「はい」と答えた小中高校生への質問】 電子図書館をどんな時に使いますか。	○	○	○	○			
問18-2	【問17で「はい」と答えた保護者への質問】 電子図書館をどのように利用していますか。					○	○	○
問18-3	【問17で「はい」と答えた人への質問】 よく使う電子図書館はどれですか。	○	○	○	○	○	○	○
問18-4	【問17で「はい」と答えた人への質問】 紙の本と電子図書の、どちらを読みたいですか。	○	○	○	○	○	○	○
問19-1	あなたはYouTubeなどの動画やSNSを見たり、ニンテンドースイッチなどのゲームをしますか。	○	○	○	○	○	○	○
問19-2	お子さんはYouTubeなどの動画やSNSを見たり、ニンテンドースイッチなどのゲームをしますか。				○			

	質問内容	対象者						
		小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学 保護者	中学 保護者
問20-1	【問19-1または問19-2で「毎日している」と答えた子どもへの質問】 動画やSNS、ゲームなどは毎日どのくらいの時間していますか。	○	○	○	○	○	○	○
問20-2	【問19-1または問19-2で「毎日している」と答えた子どもへの質問】 動画やSNS、ゲームをする時間や場所など、家族と話し合ってきためていますか。	○	○	○	○	○	○	○
問21	テレビをつけない時間帯を教えてください。	○	○	○	○	○	○	○
問22	小さい時に、読み聞かせをしてもらいましたか。			○	○			
問23	小学生の時に比べて、読書をしなくなったと思いますか。			○	○			

4. 調査実施期間

令和7年6月

5. 回収状況

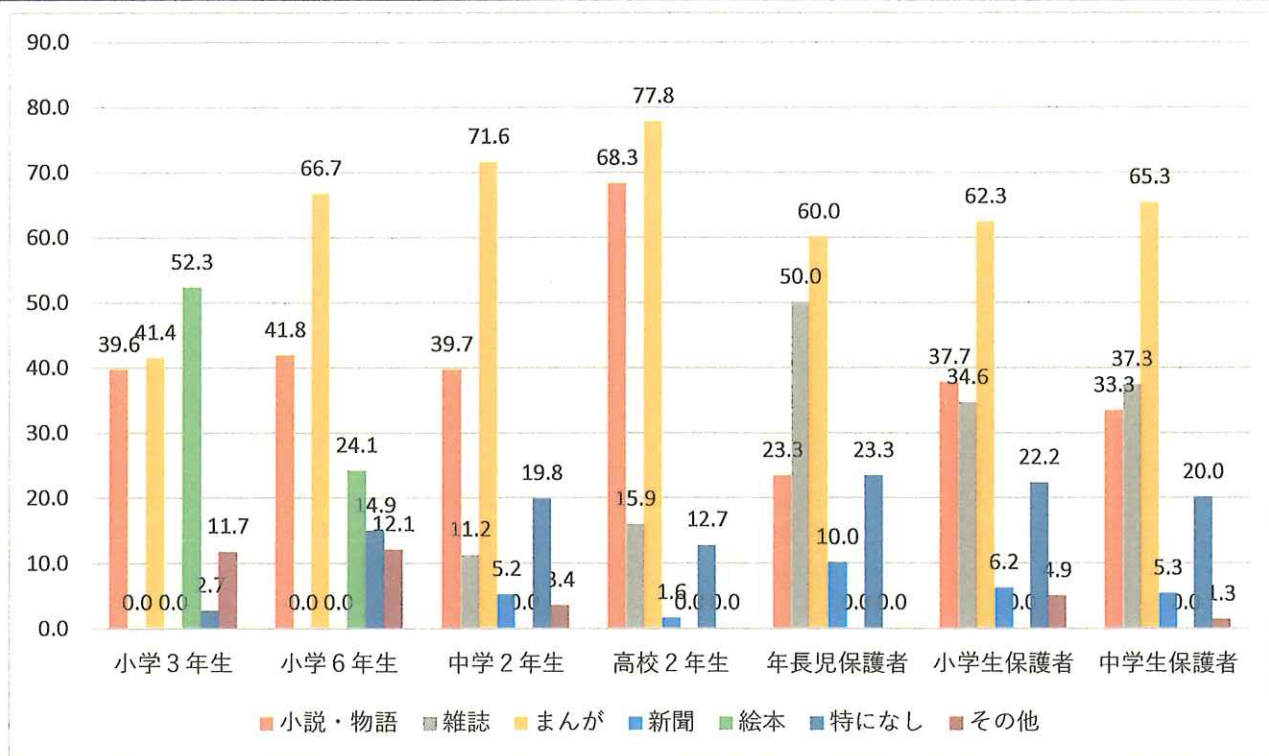
	設定数 (人)	回答数 (人)	回収率 (%)	回答方法	
				アンケート用紙	インターネット
小学3年生	121	111	91.74	37	74
小学6年生	143	141	98.60	0	141
中学2年生	138	116	84.06	0	116
高校2年生	67	63	94.03	0	63
幼稚園・保育園・認定こども園の年長児保護者	83	30	36.14	4	26
小学3年生・6年生の保護者	263	162	61.60	-	162
中学生の保護者	138	75	54.35	-	75
全 体	953	698	73.24	41	657

6. アンケート結果

問1. 好きな本の種類を教えてください。
(複数回答可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
小説・物語	44	39.6	59	41.8	46	39.7	43	68.3	7	23.3	61	37.7	25	33.3
雑誌	-	-	-	-	13	11.2	10	15.9	15	50.0	56	34.6	28	37.3
まんが	46	41.4	94	<u>66.7</u>	83	<u>71.6</u>	49	<u>77.8</u>	18	<u>60.0</u>	101	<u>62.3</u>	49	<u>65.3</u>
新聞	-	-	-	-	6	5.2	1	1.6	3	10.0	10	6.2	4	5.3
絵本	58	<u>52.3</u>	34	24.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特になし	3	2.7	21	14.9	23	19.8	8	12.7	7	23.3	36	22.2	15	20.0
その他	13	11.7	17	12.1	4	3.4	0	0.0	0	0.0	8	4.9	1	1.3
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0



「好きな本の種類を教えてください。」の質問では、小学3年生は「絵本」が最も多く、小学3年生以外はいずれも「まんが」が最も多い結果となりました。小学3年生も次いで「まんが」が多く、すべての対象者で非常に高い割合となっています。児童・生徒は「小説・物語」、保護者では「雑誌」が、「まんが」に次いで多い傾向にあります。

また「その他」では、3年生は「図鑑」「クイズ」「迷路」、6年生では「料理」「歴史」、中学生では「料理」「絵本」、小学生保護者では「絵本」「ビジネス本・啓発本」といった回答が見られました。

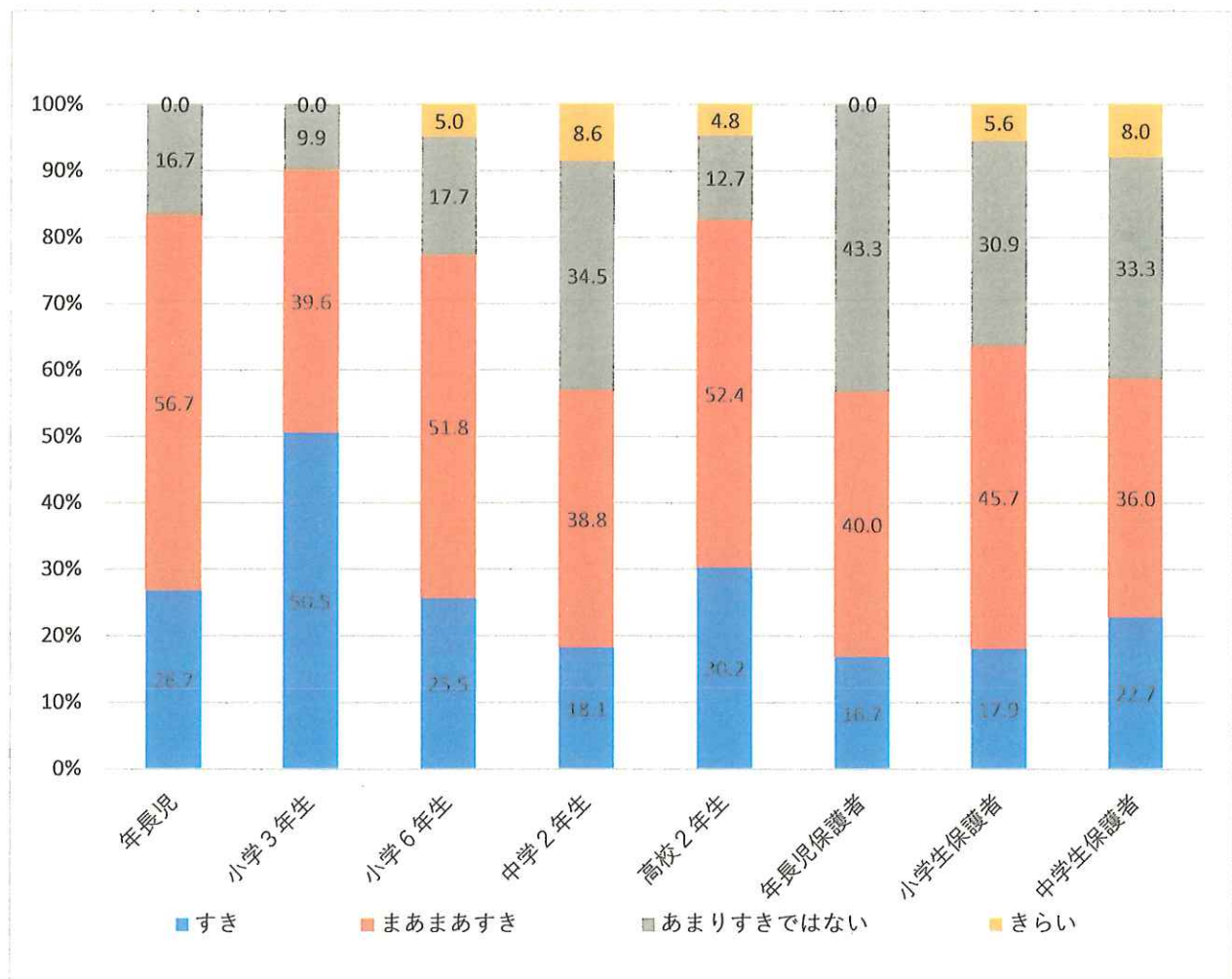
問2. 読書は好きですか。

問2-1. お子さんは読書が好きですか。
(年長児保護者)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	年長児		小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
すぎ	8	26.7	56	<u>50.5</u>	36	25.5	21	18.1	19	30.2	5	16.7	29	17.9	17	22.7
まあまあ すぎ	17	<u>56.7</u>	44	39.6	73	<u>51.8</u>	45	<u>38.8</u>	33	<u>52.4</u>	12	40.0	74	<u>45.7</u>	27	<u>36.0</u>
あまり すぎ ではない	5	16.7	11	9.9	25	17.7	40	34.5	8	12.7	13	<u>43.3</u>	50	30.9	25	33.3
きらい	0	0.0	0	0.0	7	5.0	10	8.6	3	4.8	0	0.0	9	5.6	6	8.0

▲保護者回答



「読書が好きですか」の質問では、小学3年生は「すぎ」と回答した割合が50.5%で最も多かったものの、小学6年生は25.5%、中学生は18.1%、高校生は30.2%となりました。

問3. (児童・生徒) 1週間に本を何冊くらい

読みますか。

(保護者) あなたは1か月に本を何冊くらい

読みますか。

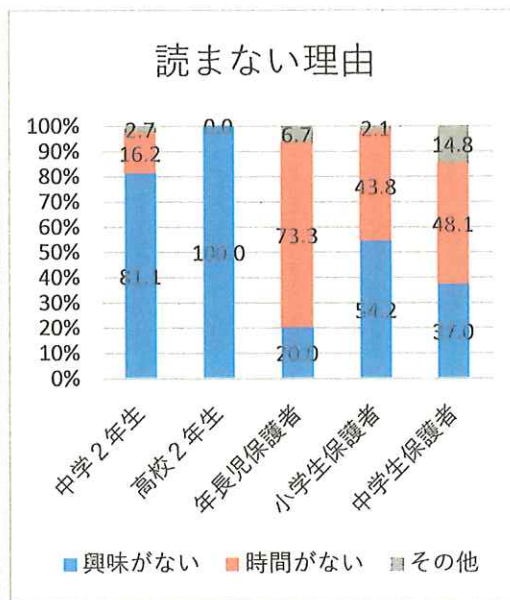
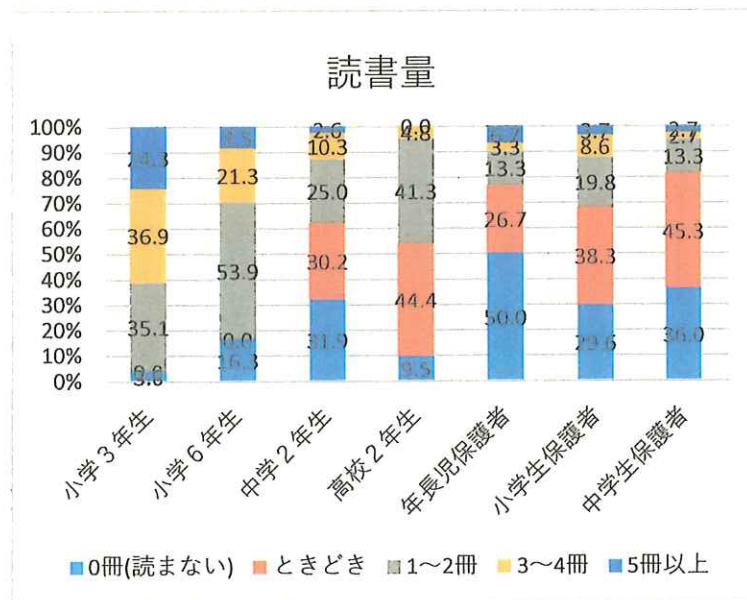
対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
0冊 (読まない)	4	3.6	23	16.3	37	<u>31.9</u>	6	9.5	15	<u>50.0</u>	48	29.6	27	36.0
ときどき	-	-	-	-	35	30.2	28	<u>44.4</u>	8	26.7	62	<u>38.3</u>	34	<u>45.3</u>
1～2冊	39	35.1	76	<u>53.9</u>	29	25.0	26	41.3	4	13.3	32	19.8	10	13.3
3～4冊	41	<u>36.9</u>	30	21.3	12	10.3	3	4.8	1	3.3	14	8.6	2	2.7
5冊以上	27	24.3	12	8.5	3	2.6	0	0.0	2	6.7	6	3.7	2	2.7
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

← 1週間 1か月 →

※「読まない」と答えた中学生・高校生・保護者に対して、その理由

項目	中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
興味がない	30	<u>81.1</u>	6	<u>100.0</u>	3	20.0	26	<u>54.2</u>	10.0	37.0
時間がない	6	16.2	0	0.0	11	<u>73.3</u>	21	43.8	13.0	<u>48.1</u>
その他	1	2.7	0	0.0	1	6.7	1	2.1	4.0	14.8



「本を何冊くらい読みますか。」の質問では、小学3年生は「3～4冊」、6年生は「1～2冊」が最も多く、中学生以上は「時々」または「読まない」が最も多いという結果になりました。5冊以上読んでいる小学3年生では月に30冊以上の回答が6件、最も多い子で月に90冊という回答がありました。小学6年生では月に30冊以上の回答が3件、最も多い子で月に65冊という回答がありました。全体的に、学年が上がるにつれて読書量が減る傾向が見られます。

また、読まない理由については、中学生及び高校生では「興味がない」、保護者では「時間がない」という回答が多い傾向が見られました。その他の回答では「読むのが苦手」「眠くなる」といった回答がありました。

問4. 読み聞かせは好きですか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	-	-	-	-	-

項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
好き	60	<u>54.1</u>	18	12.8
まあまあ好き	43	38.7	57	<u>40.4</u>
あまり好きではない	8	7.2	49	34.8
きらい	0	0.0	17	12.1
無回答	0	0.0	0	0.0

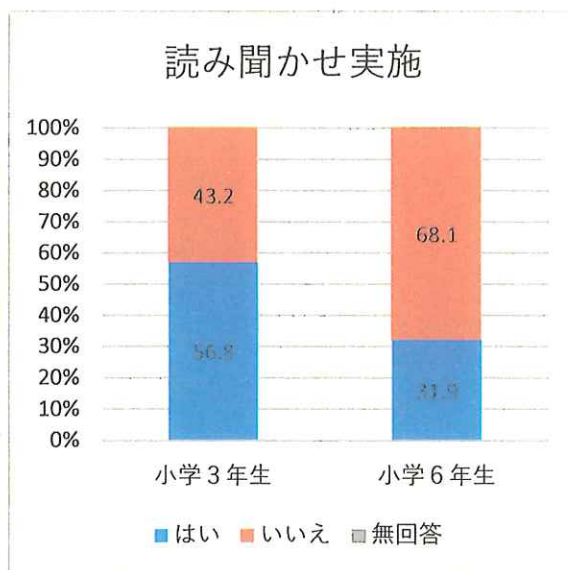
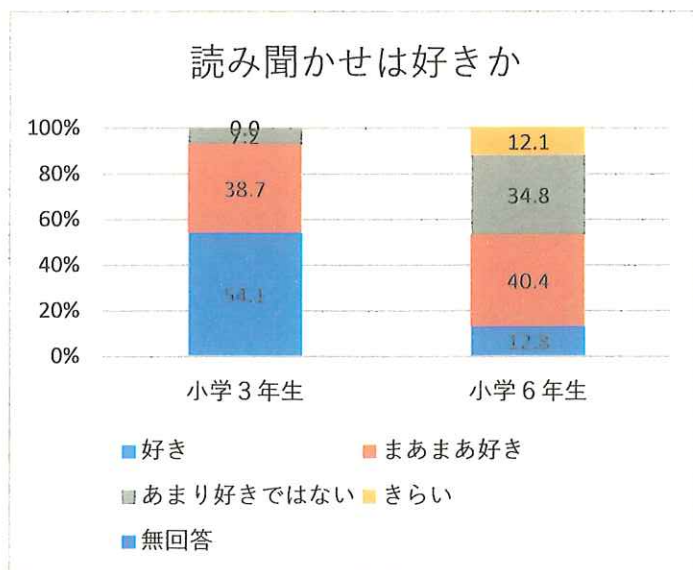
「読み聞かせは好きですか。」の質問では、小学3年生は54.1%が「好き」と回答し、「まあまあ好き」と合わせると92.8%の子どもが読み聞かせが好きなことがわかります。しかし6年生になると「好き」「まあまあ好き」を合わせても53.2%という結果となりました。また、3年生は「きらい」と回答したのは0でしたが、6年生では12.1%となりました。

問5. 読み聞かせをしてもらっていますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	-	-	-	-	-

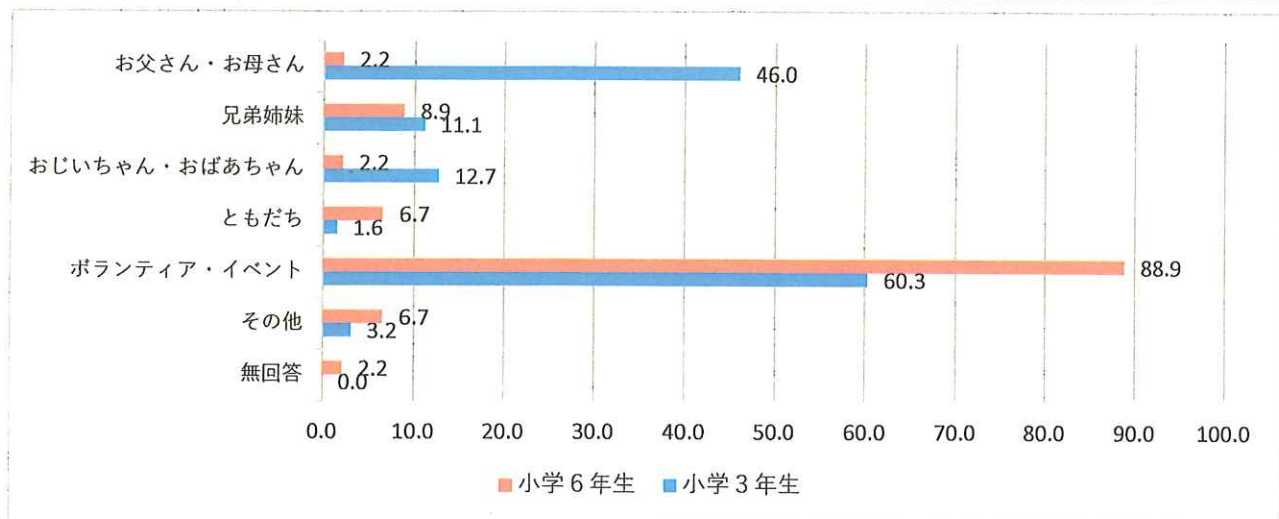
項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
はい	63	<u>56.8</u>	45	31.9
いいえ	48	43.2	96	<u>68.1</u>

「読み聞かせをしてもらっていますか。」の質問では、小学3年生は56.8%が「はい」と回答しましたが、6年生では31.9%でした。



問6.【問5で「はい」と答えた人への質問】 読み聞かせは誰にしてもらっていますか。（複数回答可）

項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
お父さん・お母さん	29	46.0	1	2.2
兄弟姉妹	7	11.1	4	8.9
おじいちゃん・おばあちゃん	8	12.7	1	2.2
ともだち	1	1.6	3	6.7
ボランティア・イベント	38	<u>60.3</u>	40	<u>88.9</u>
その他	2	3.2	3	6.7
無回答	0	0.0	1	2.2



「読み聞かせは誰にしてもらっていますか。」の質問では、3年生・6年生いずれも「ボランティア・イベント」が最も多く、特に6年生では88.9%と非常に高い割合でした。また3年生の46.0%が「お父さん・お母さん」も選んでいますが、6年生では2.2%となっています。

また、その他の回答では「学校の先生」という回答が多く見られました。

問7. 家庭読書をしていますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	○	○	○

項目	中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
はい	12	10.3	10	15.9	15	<u>50.0</u>	41	25.3	8	10.7
いいえ	104	<u>89.7</u>	53	<u>84.1</u>	15	<u>50.0</u>	121	<u>74.7</u>	67	<u>89.3</u>
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

「家庭読書をしていますか。」の質問では、年長児保護者では「はい」「いいえ」が同数となりましたが、年齢が上がるにつれて「いいえ」の割合が増える傾向が見られました。

【問7で「はい」と答えた年長児保護者・小学生保護者への質問】

問8. 家庭読書の中で「読み聞かせ」をしていますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	-

項目	年長児保護者		小学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)
はい	14	<u>93.3</u>	19	46.3
いいえ	1	6.7	22	<u>53.7</u>
無回答	0	0.0	0	0.0

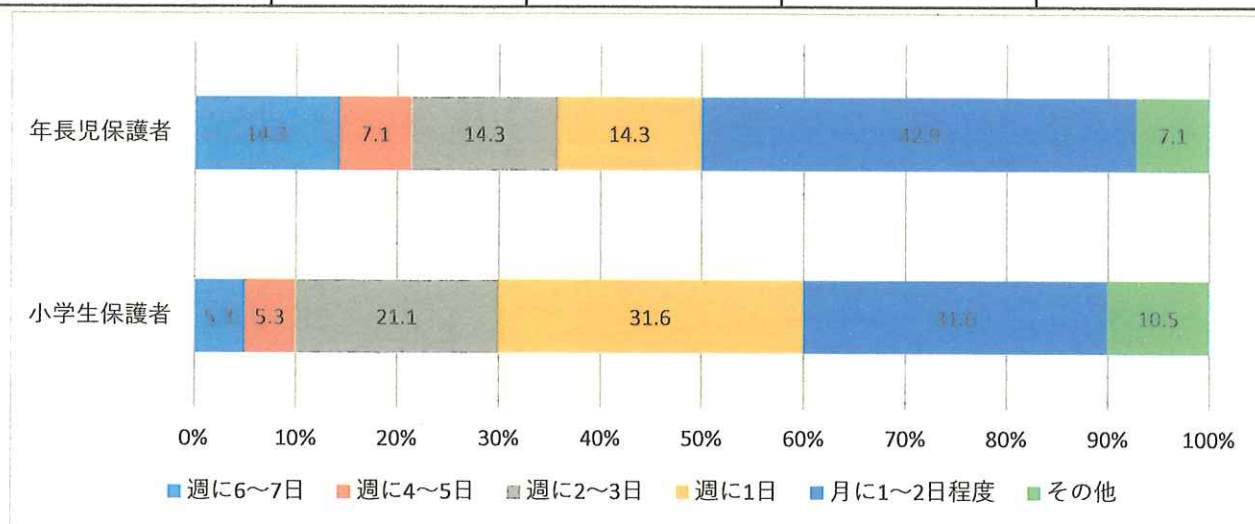
「読み聞かせをしていますか」の質問では、年長児保護者では93.3%が「はい」と回答していますが、小学生保護者では46.3%という結果になりました。

【問8で「はい」と答えた年長児保護者・小学生保護者への質問】

問9-1. どの程度の頻度で読み聞かせをしますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	-

項目	年長児保護者		小学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)
週に6～7日	2	14.3	1	5.3
週に4～5日	1	7.1	1	5.3
週に2～3日	2	14.3	4	21.1
週に1日	2	14.3	6	<u>31.6</u>
月に1～2日程度	6	<u>42.9</u>	6	<u>31.6</u>
その他	1	7.1	2	10.5



読み聞かせの頻度は、年長児保護者では「月に1～2回」が最も多く、小学生保護者は「週に1日」と「月に1～2日」が最も多いという結果になりました。また小学生保護者の「その他」では「学校の課題で年数回」といった回答が見られました。

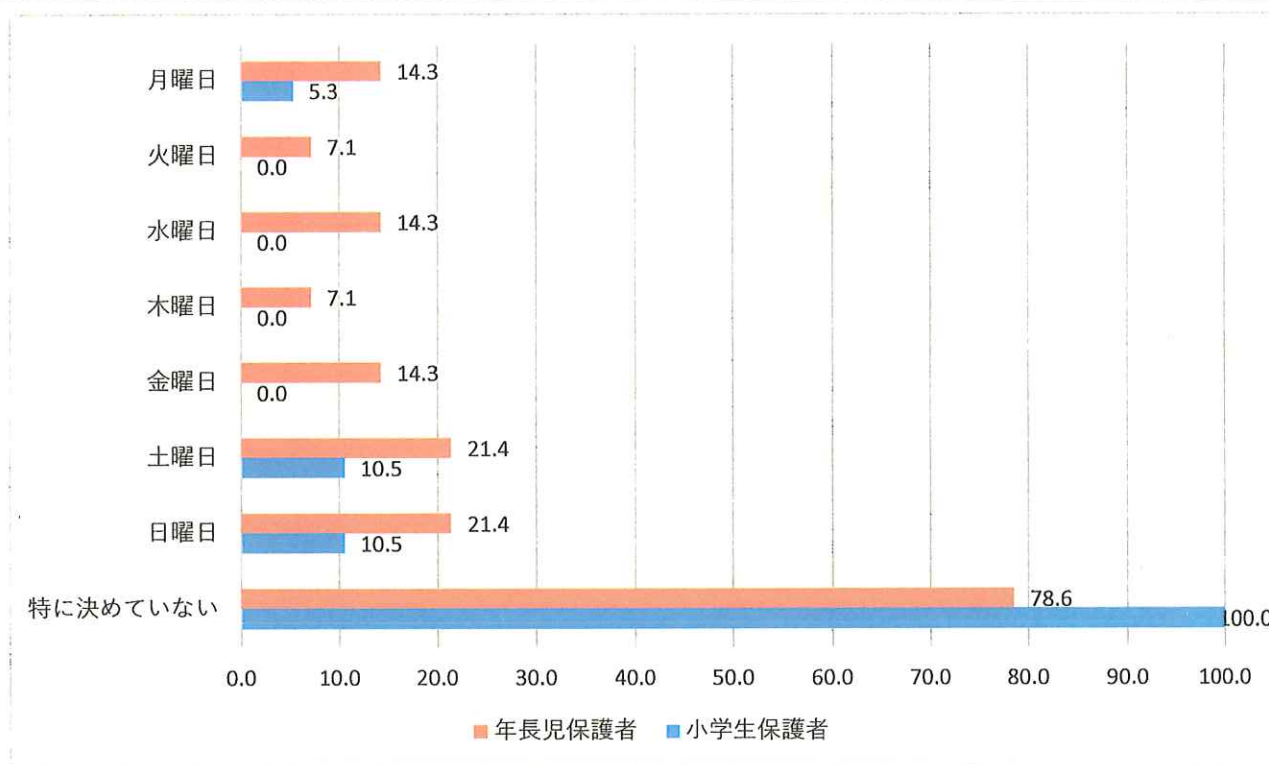
【問8で「はい」と答えた人への質問】

問9-2. いつ読み聞かせをしていますか。

(複数回答可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	-

項目	年長児保護者		小学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)
月曜日	2	14.3	1	5.3
火曜日	1	7.1	0	0.0
水曜日	2	14.3	0	0.0
木曜日	1	7.1	0	0.0
金曜日	2	14.3	0	0.0
土曜日	3	21.4	2	10.5
日曜日	3	21.4	2	10.5
特に決めていない	11	<u>78.6</u>	19	<u>100.0</u>
その他	0	0.0	0	0.0



「いつ読み聞かせをしていますか。」の質問には、年長児保護者、小学生保護者ともに「特に決めていない」が最も多い結果となりました。また、小学生保護者は土日に読み聞かせをする方が多いが、年長児保護者は曜日に関係なく読み聞かせをしている傾向が見られます。

【問8で「はい」と答えた人への質問】

問9-3. 【平日】に読み聞かせをする時間帯を教えてください。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	-

項目	年長児保護者		小学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)
午前（8～12時頃）	0	0.0	0	0.0
午後（13～17時頃）	0	0.0	0	0.0
夕方～夜間 （18～22時）	10	<u>71.4</u>	11	<u>55.0</u>
深夜（22時以降）	0	0.0	0	0.0
特に決めていない	4	28.6	9	45.0
その他	0	0.0	0	0.0

平日の読み聞かせの時間帯は、年長児保護者・小学生保護者ともに「夕方～夜間」が最も多く、次いで「特に決めていない」が多い結果となりました。

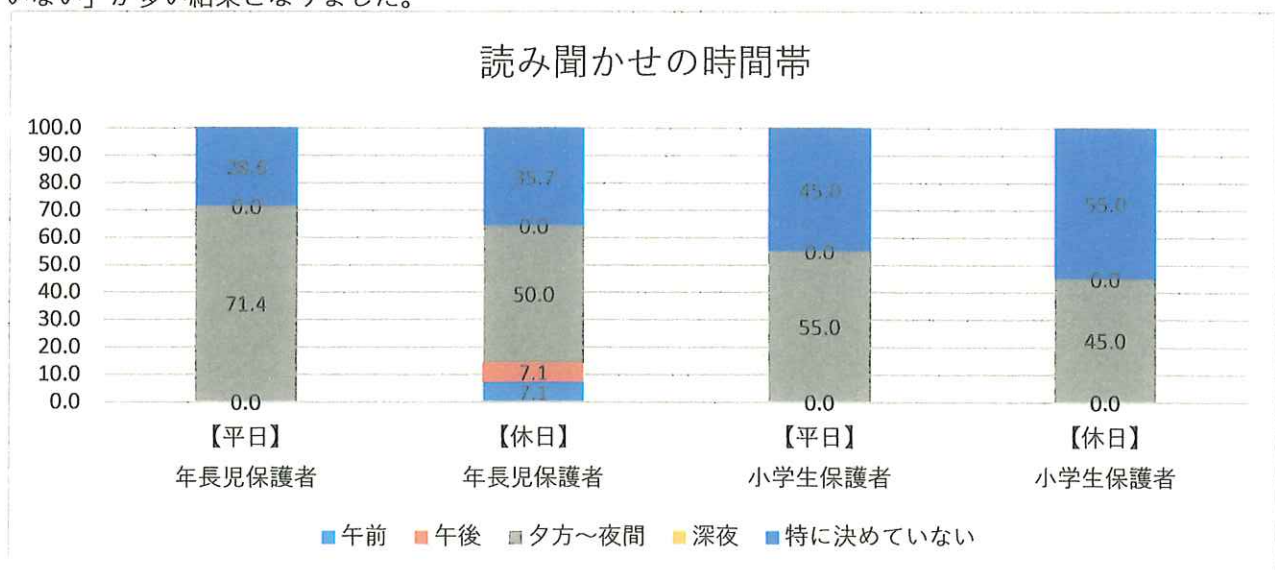
【問8で「はい」と答えた人への質問】

問9-4. 【土日】に読み聞かせをする時間帯を教えてください。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
-	-	-	-	○	○	-

項目	年長児保護者		小学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)
午前（8～12時頃）	1	7.1	0	0.0
午後（13～17時頃）	1	7.1	0	0.0
夕方～夜間 （18～22時）	7	<u>50.0</u>	9	45.0
深夜（22時以降）	0	0.0	0	0.0
特に決めていない	5	35.7	11	<u>55.0</u>
その他	0	0.0	0	0.0

土日の読み聞かせの時間帯は、年長児保護者では「夕方～夜間」が最も多く、小学生保護者では「特に決めていない」が多い結果となりました。



問10. 学校の図書館を利用しますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	○	○	-	-	-

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
よく利用する	32	28.8	37	26.2	8	6.9	1	1.6
時々利用する	71	<u>64.0</u>	82	<u>58.2</u>	51	44.0	10	15.9
あまり利用しない	8	7.2	22	15.6	57	<u>49.1</u>	52	<u>82.5</u>
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

学校の図書館を利用しますかの質問では、小学生は「時々利用する」が最も多く、中高校生は「あまり利用しない」が最も多い結果となりました。全体的に、年齢が上がるにつれて利用しなくなる傾向が見られました。

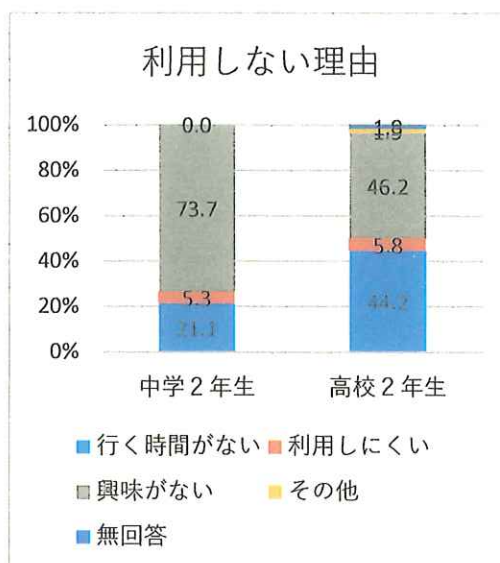
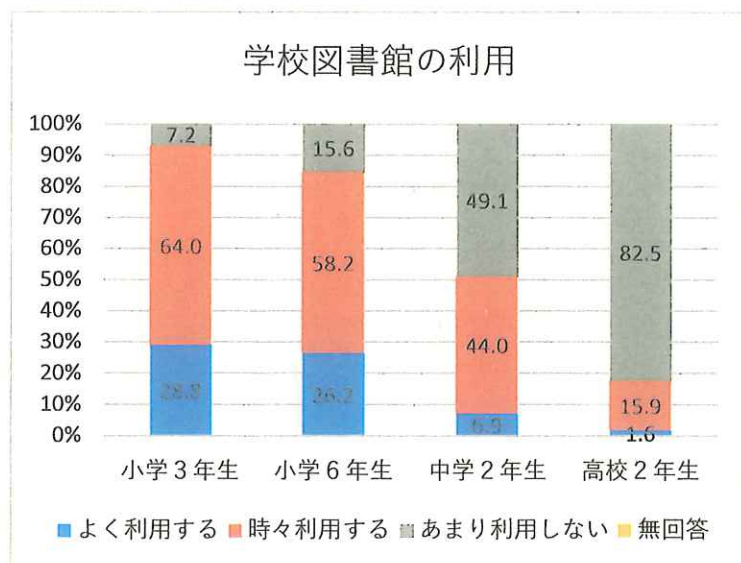
【問10で「あまり利用しない」と答えた中高校生への質問】

利用しない理由を選んでください。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
-	-	○	○	-	-	-

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
行く時間がない	12	21.1	23	44.2
利用しにくい	3	5.3	3	5.8
興味がない	42	<u>73.7</u>	24	<u>46.2</u>
その他	0	0.0	1	1.9
無回答	0	0.0	1	1.9

学校図書館を利用しない理由は、中学生・高校生ともに「興味がない」が最も多い結果となり、特に中学2年生の関心が低い結果となりました。



問11-1. 市民図書館（ブックランド号を含む）を利用しますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
よく利用する	20	18.0	13	9.2	3	2.6	1	1.6	4	13.3	12	7.4	3	4.0
時々利用する	45	<u>40.5</u>	62	44.0	16	13.8	6	9.5	7	23.3	57	35.2	15	20.0
あまり利用しない	45	<u>40.5</u>	66	<u>46.8</u>	57	<u>49.1</u>	26	41.3	9	30.0	62	<u>38.3</u>	37	<u>49.3</u>
利用したことがない	-	-	-	-	40	34.5	30	<u>47.6</u>	10	<u>33.3</u>	31	19.1	20	26.7
無回答	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

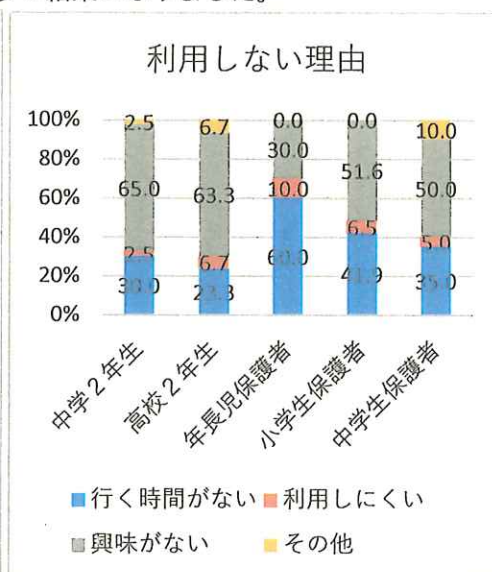
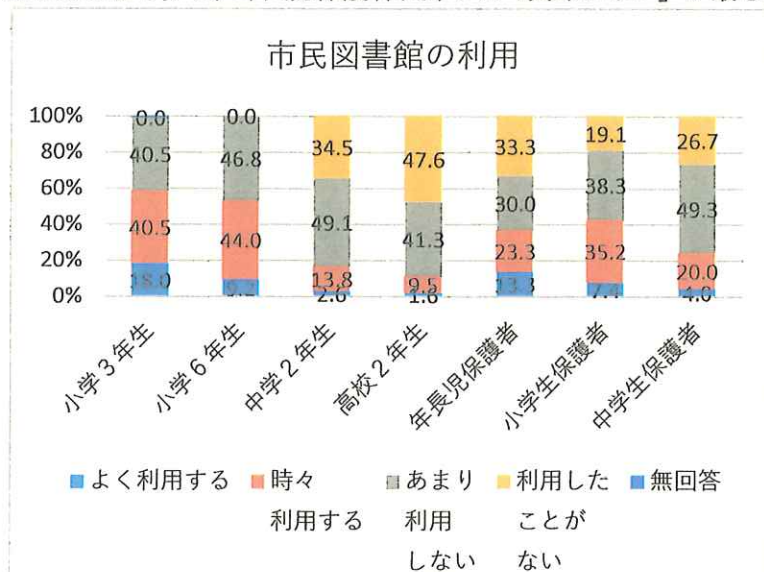
【問11-1で「利用したことがない」と答えた人への質問】

利用しない理由を選んでください。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	○	○	○

項目	中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
行く時間がない	12	30.0	7	23.3	6	<u>60.0</u>	13	41.9	7	35.0
利用しにくい	1	2.5	2	6.7	1	10.0	2	6.5	1	5.0
興味がない	26	<u>65.0</u>	19	<u>63.3</u>	3	30.0	16	<u>51.6</u>	10	<u>50.0</u>
その他	1	2.5	2	6.7	0	0.0	0	0.0	2	10.0

市民図書館の利用状況の質問では、小学3年生で「時々利用する」と「あまり利用しない」がともに40.5%で最も多い回答となりました。特に中高校生では「あまり利用しない」と「利用したことがない」の回答を合わせると8割を越えています。また、市民図書館を利用しない理由は、年長児保護者では「行く時間がない」が60.0%と最も多く、年長児保護者以外では「興味がない」が最も多い結果となりました。



問11-2. 市民図書館へは誰と行きますか。
(複数回答可)

対象者						
小 3	小 6	中 2	高 2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	-	-	-	-	-

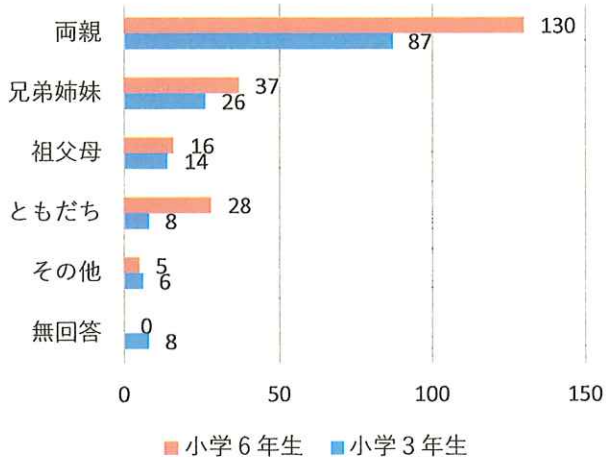
項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
お父さん・お母さん	87	<u>78.4</u>	130	<u>92.2</u>
兄弟・姉妹	26	23.4	37	26.2
おじいちゃん・おばあちゃん	14	12.6	16	11.3
ともだち	8	7.2	28	19.9
その他	6	5.4	5	3.5
未回答	8	7.2	0	0.0

問11-3. 市民図書館へは何(交通手段)で行きますか。

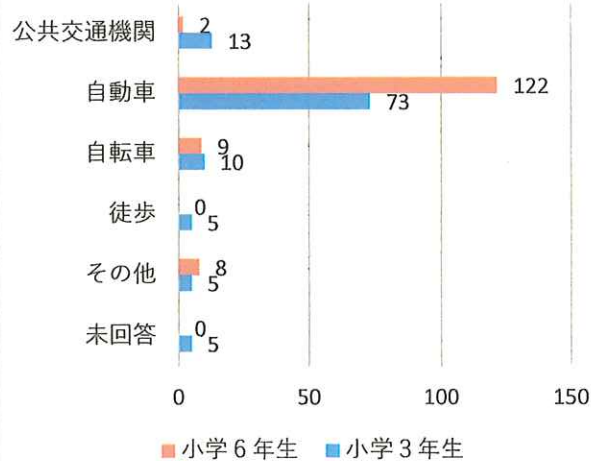
対象者						
小 3	小 6	中 2	高 2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
○	○	-	-	-	-	-

項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
バスや電車 (公共交通機関)	13	11.7	2	1.4
自動車	73	<u>65.8</u>	122	<u>86.5</u>
自転車	10	9.0	9	6.4
徒歩	5	4.5	0	0.0
その他	5	4.5	8	5.7
未回答	5	4.5	0	0.0

誰と行くか(回答数)



交通手段(回答数)



市民図書館に誰と行くかという質問では、小学3年生・6年生ともに「お父さん・お母さん」が最も多い結果となりました。市民図書館への交通手段の質問では、小学3年生・6年生ともに「自動車」が一番多く、「公共交通機関」「自転車」「徒歩」といった子どもだけで図書館に行く手段はいずれも少数でした。その他では問11-2、問11-3ともに「行ったことがない」「見学で」という回答が見られました。

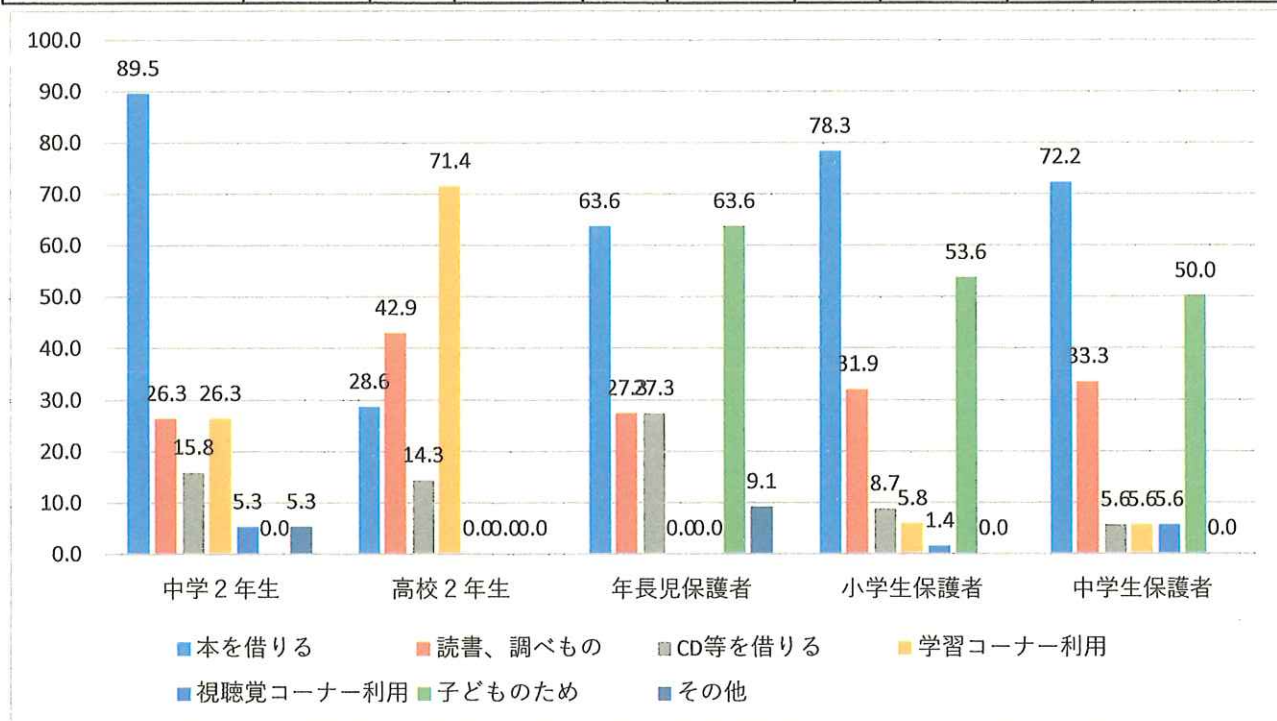
【問11-1で「よく利用する」「時々利用する」と答えた人に質問】

問11-4 市民図書館利用の主な目的はなんですか。

(複数選択可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	○	○	○

項目	中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
本を借りるため	17	<u>89.5</u>	2	28.6	7	<u>63.6</u>	54	<u>78.3</u>	13	<u>72.2</u>
本を読んだり、調べものをする	5	26.3	3	42.9	3	27.3	22	31.9	6	33.3
CD・DVDなどを借りるため	3	15.8	1	14.3	3	27.3	6	8.7	1	5.6
学習コーナーを利用するため	5	26.3	5	<u>71.4</u>	0	0.0	4	5.8	1	5.6
視聴覚コーナーを利用するため	1	5.3	0	0.0	0	0.0	1	1.4	1	5.6
子どものため	-	-	-	-	7	<u>63.6</u>	37	53.6	9	50.0
その他	1	5.3	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0



市民図書館利用の主な目的では、中学2年生の89.5%、年長児保護者の63.6%、小学生保護者の78.3%、中学生保護者の72.2%が「本を借りるため」と回答し、最も多くなっています。高校2年生は71.4%が「学習コーナーを利用するため」、次いで42.9%が「本を読んだり、調べものをするため」と回答しています。

【問11-1で「よく利用する」「時々利用する」と答えた保護者に質問】

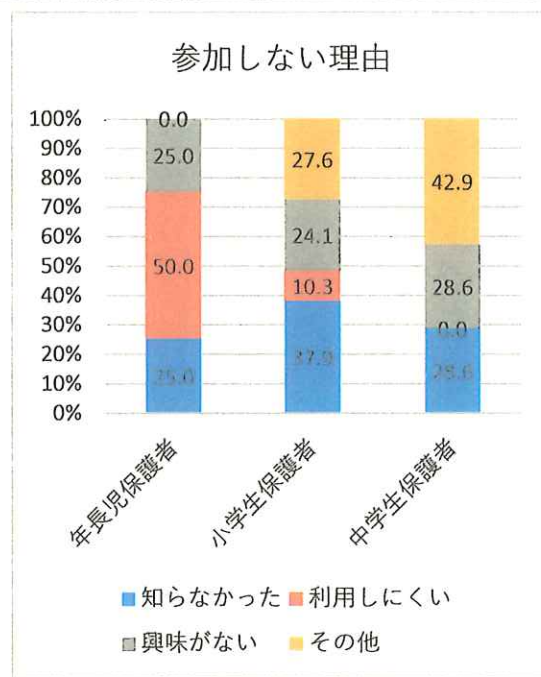
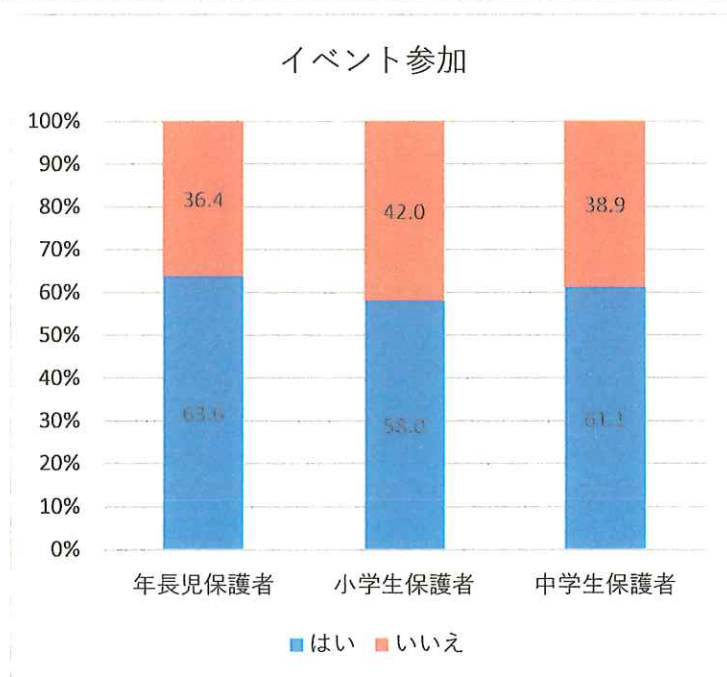
問11-5 市民図書館で開催されているイベントに参加したことがありますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	○

項目	年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
はい	7	<u>63.6</u>	40	<u>58.0</u>	11	<u>61.1</u>
いいえ	4	36.4	29	42.0	7	38.9

【問11-5で「いいえ」と答えた人への質問】 理由をお答えください。

項目	年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
知らなかった	1	25.0	11	<u>37.9</u>	2	28.6
利用しにくい	2	<u>50.0</u>	3	10.3	0	0.0
興味がない	1	25.0	7	24.1	2	28.6
その他	0	0.0	8	27.6	3	<u>42.9</u>



図書館で開催しているイベントへに参加したことがありますかの質問では、いずれの対象者も6割程度が参加したことがあると回答しています。

また、参加しない理由は年長児保護者では「利用しにくい」が50.0%、小学生保護者では「知らなかった」が37.9%、中学生保護者では「その他」が42.9%で最も多い回答となりました。その他の内容は、小学生保護者も中学生保護者も「（塾の送迎など）他の予定があり時間が合わない」という回答が見られました。

問12-1. 学校や近所などに市民図書館のブックランド号が来たとき、利用しますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
よく利用する	16	14.4	12	8.5	9	7.8	0	0.0	2	6.7	2	1.2	0	0.0
時々利用する	46	<u>41.4</u>	49	<u>34.8</u>	18	15.5	8	12.7	1	3.3	7	4.3	3	4.0
あまり利用しない	21	18.9	42	29.8	45	<u>38.8</u>	18	28.6	2	6.7	32	19.8	17	22.7
利用したことがない	28	25.2	38	27.0	44	37.9	37	<u>58.7</u>	25	<u>83.3</u>	121	<u>74.7</u>	55	<u>73.3</u>
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

移動図書館車（ブックランド号）の利用については、小学生では3年生41.4%、6年生では34.8%が「時々利用する」と答え、最も多くなっています。全体的に年齢が低いほどよく利用されている傾向が見られます。

【問12-1で「利用したことがない」と答えた人への質問】

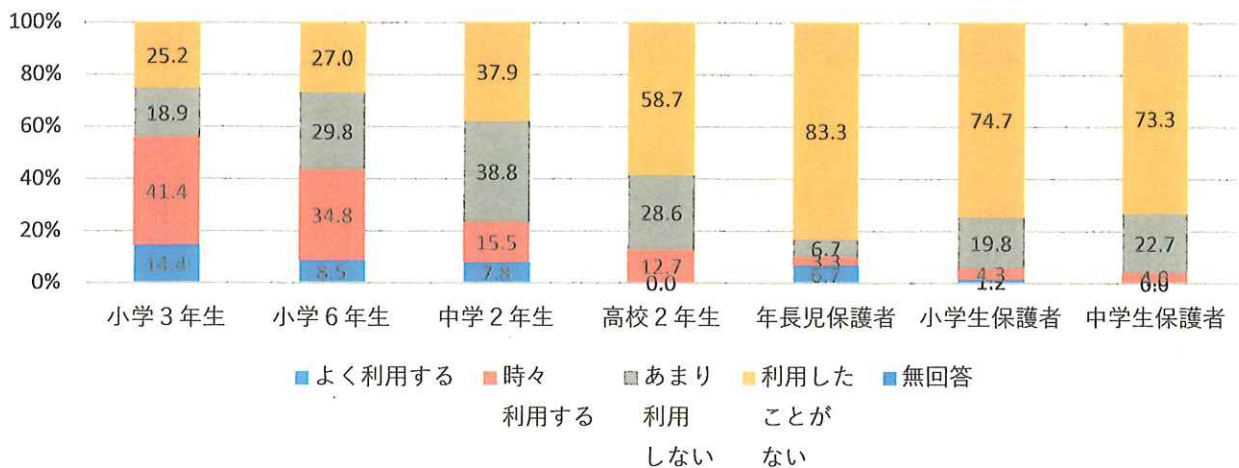
問12-2. 理由をお答えください。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

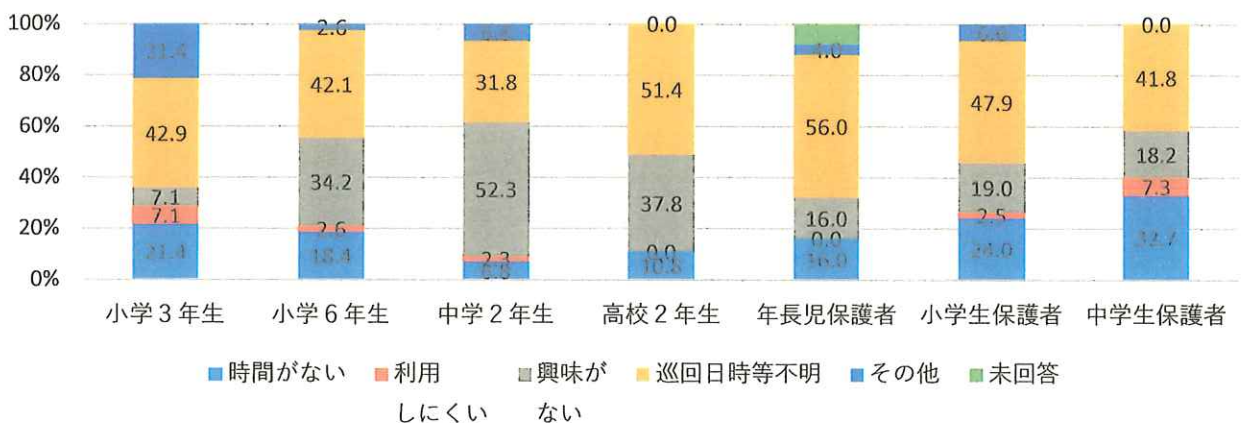
項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
行く時間がない	6	21.4	7	18.4	3	6.8	4	10.8	4	16.0	29	24.0	18	32.7
利用しにくい	2	7.1	1	2.6	1	2.3	0	0.0	0	0.0	3	2.5	4	7.3
興味が ない	2	7.1	13	34.2	23	<u>52.3</u>	14	37.8	4	16.0	23	19.0	10	18.2
いつどこに きているかわ からない	12	<u>42.9</u>	16	<u>42.1</u>	14	31.8	19	<u>51.4</u>	14	<u>56.0</u>	58	<u>47.9</u>	23	<u>41.8</u>
その他	6	21.4	1	2.6	3	6.8	0	0.0	1	4.0	8	6.6	0	0.0
未回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	8.0	0	0.0	0	0.0

移動図書館車（ブックランド号）を利用しない理由は、全体的に「いつどこにきているかわからない」という回答が非常に多く見られました。その他では「カードがない」といった回答が多数見られ、一部「学校など近くにきてない」「図書館が近いので図書館に行く」といった回答もありました。

ブックランド号の利用



利用しない理由



問13 市民図書館で行う「おはなし会」や映画上映会などのイベントに参加したことがありますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	-	-	-	-	-

項目	小学3年生		小学6年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
ある	52	46.8	42	29.8
ない	59	<u>53.2</u>	99	<u>70.2</u>

図書館主催のおはなし会などへの参加については、小学3年生で53.2%、小学6年生で70.2%が「ない」と回答し、最も多くなっています。

問14 読書に関するボランティア活動やイベントに参加したことがありますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	○	○	○

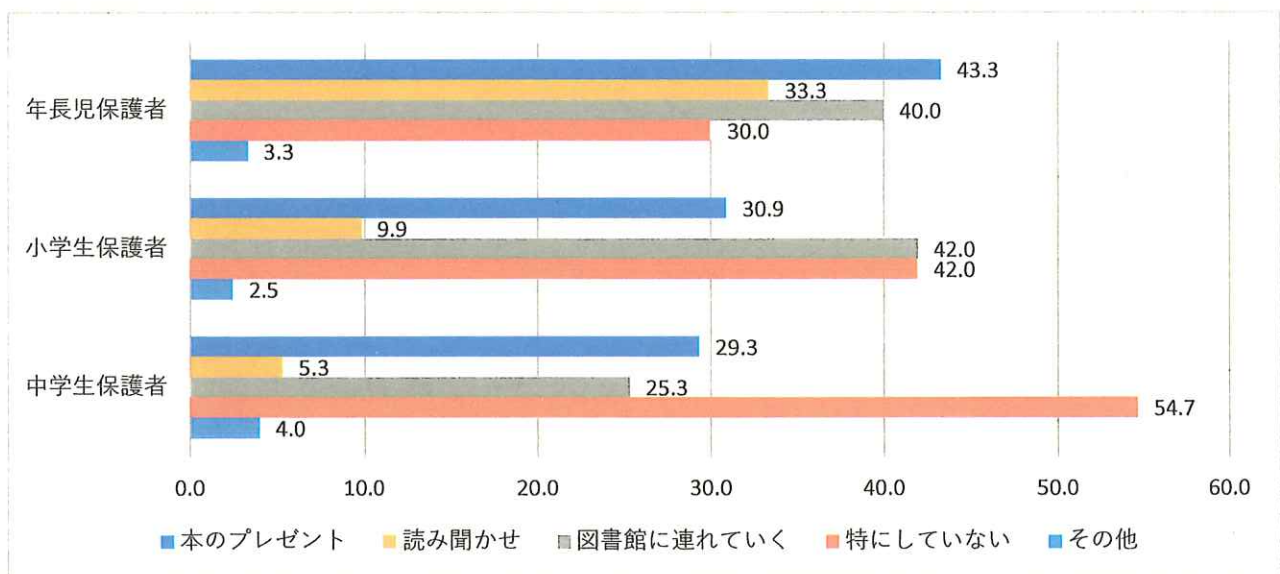
項目	中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
はい	10	8.6	13	20.6	8	26.7	32	19.8	10	13.3
いいえ	106	<u>91.4</u>	50	<u>79.4</u>	22	<u>73.3</u>	130	<u>80.2</u>	65	<u>86.7</u>

読書に関するボランティア活動等への参加については、「いいえ」が最も多く、中学2年生91.4%、高校2年生79.4%、年長児保護者73.3%、小学生保護者80.2%、中学生保護者86.7%という結果になりました。

問15 子どもが読書をするきっかけづくりをしていますか。（複数回答可）

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	○

項目	年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
本のプレゼント	13	<u>43.3</u>	50	30.9	22	29.3
読み聞かせ	10	33.3	16	9.9	4	5.3
図書館に連れていく	12	40.0	68	<u>42.0</u>	19	25.3
特にしていない	9	30.0	68	<u>42.0</u>	41	<u>54.7</u>
その他	1	3.3	4	2.5	3	4.0



読書のきっかけづくりについては、全体的には年齢が低いほど複数の方法できっかけづくりをしています、年齢があがるにつれて「特にしていない」が増える傾向が見られました。

また、その他では「書店に連れていく」「一緒に読書をする」といった回答がありました。

問16 大人になってから、絵本を自分のために読んでみたいと思うことがありますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	○

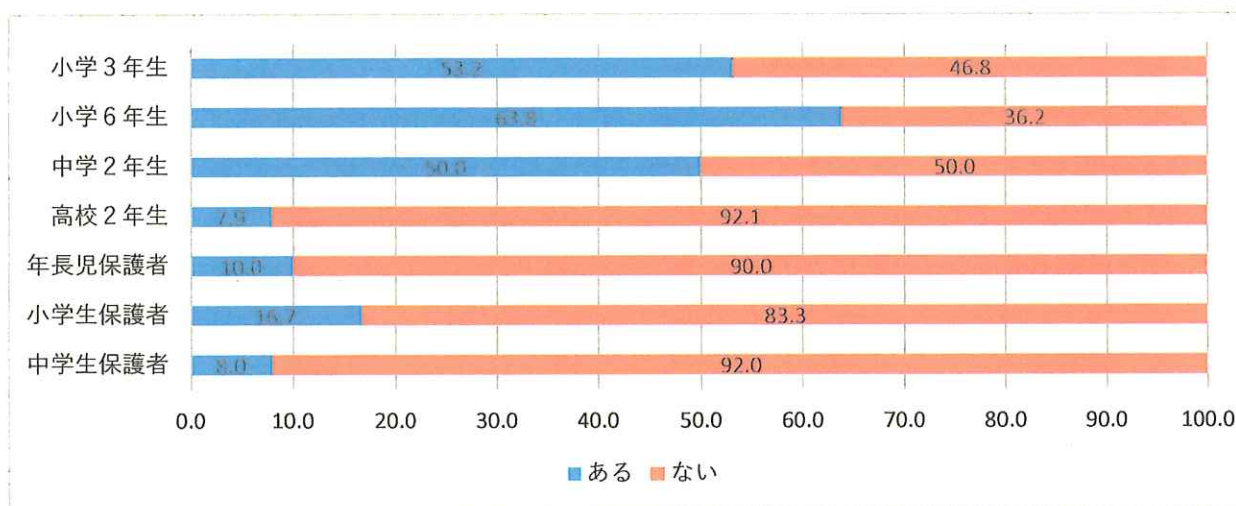
項目	年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
ある	17	<u>56.7</u>	68	42.0	45	<u>60.0</u>
ない	13	43.3	94	<u>58.0</u>	30	40.0

大人になってから絵本を読みたいと思うことがあるかという質問には、全体的に見るとおおよそ半数が絵本を読みたいと思っていることがわかりました。

問17. 電子図書館を利用したことがありますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
ある	59	<u>53.2</u>	90	<u>63.8</u>	58	<u>50.0</u>	5	7.9	3	10.0	27	16.7	6	8.0
ない	52	46.8	51	36.2	58	<u>50.0</u>	58	<u>92.1</u>	27	<u>90.0</u>	135	<u>83.3</u>	69	<u>92.0</u>



「電子図書館を利用したことがありますか」の質問では、小中学生は過半数の児童生徒が利用したことがありますが、高校生及び保護者では利用したことがない人が多いことがわかります。

【問17で「ある」と答えた小中高校生への質問】

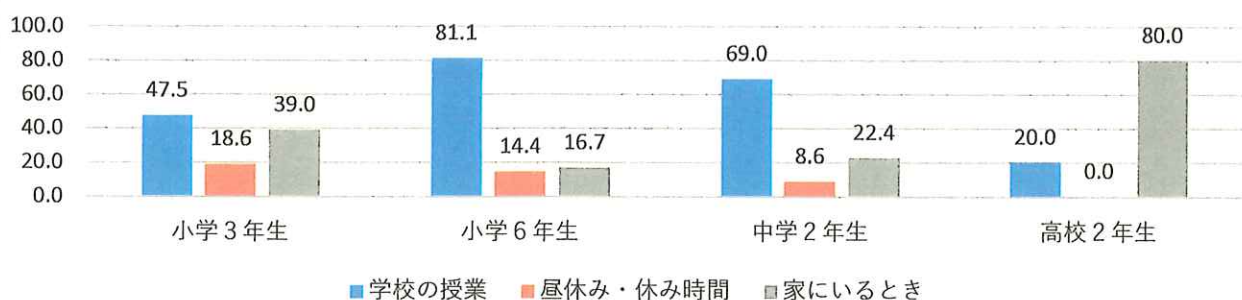
問18-1-1. 電子図書館をどんな時に使いますか。

(複数回答可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	-	-	-

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
学校の授業	28	<u>47.5</u>	73	<u>81.1</u>	40	<u>69.0</u>	1	20.0
昼休み・休み時間	11	18.6	13	14.4	5	8.6	0	0.0
家にいるとき	23	39.0	15	16.7	13	22.4	4	<u>80.0</u>

電子図書館利用するとき



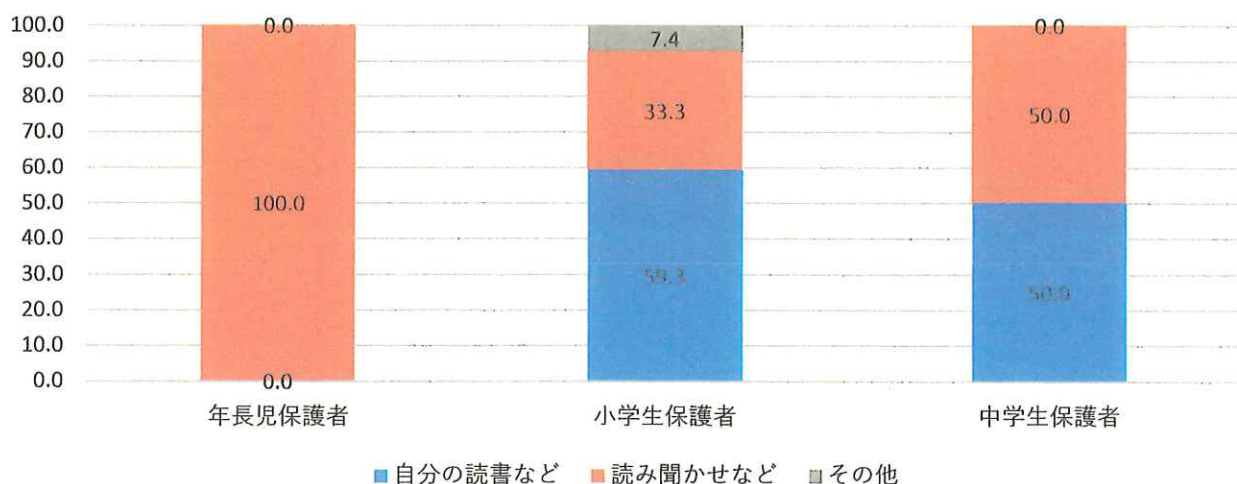
電子図書をどんな時に使うかの質問では、小学3年生の47.5%、6年生の81.0%、中学2年生の69.0%が「学校の授業」と回答し、最も多い結果でした。また、高校生では「家にいるとき」が最も多くなっています。

【問17で「ある」と答えた保護者への質問】

問18-1-2. 電子図書館をどのように使いますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	-	-	○	○	○

項目	年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
自分で本を読んだり調べたりするため	0	0.0	16	<u>59.3</u>	3	<u>50.0</u>
読み聞かせなどこどものため	3	<u>100.0</u>	9	33.3	3	<u>50.0</u>
その他	0	0.0	2	7.4	0	0.0



電子図書をどのように利用していますかの質問では、特に年長児保護者の100%、小学生保護者の33.3%、中学生保護者の50.0%が「こどものため」と回答しています。

【問17で「ある」と答えた人への質問】

問18-2. よく使う電子図書館は、どれですか。

(複数回答可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
えびの市電子図書館	41	<u>69.5</u>	79	<u>87.8</u>	34	<u>58.6</u>	4	<u>80.0</u>	3	<u>100.0</u>	24	<u>88.9</u>	5	<u>83.3</u>
ひなた電子図書館	0	0.0	8	8.9	17	29.3	0	0.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0
わからない	19	32.2	5	5.6	16	27.6	2	40.0	0	0.0	2	7.4	1	16.7
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

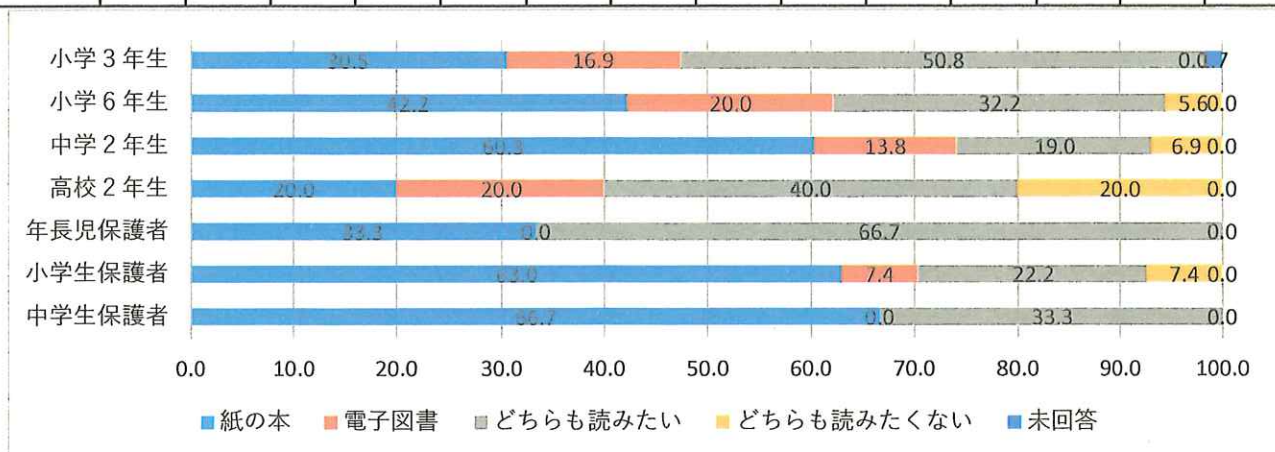
「よく使う電子図書館はどれですか」の質問では、すべての年齢層でひなた電子図書館よりもえびの市電子図書館が利用されていることがわかります。

【問17で「ある」と答えた人への質問】

問18-3. 紙の本と電子図書の、どちらが読みたいと思いますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
紙の本	18	30.5	38	<u>42.2</u>	35	<u>60.3</u>	1	20.0	1	33.3	17	<u>63.0</u>	4	<u>66.7</u>
電子図書	10	16.9	18	20.0	8	13.8	1	20.0	0	0.0	2	7.4	0	0.0
どちらも読みたい	30	<u>50.8</u>	29	32.2	11	19.0	2	<u>40.0</u>	2	<u>66.7</u>	6	22.2	2	33.3
どちらも読みたくない	0	0.0	5	5.6	4	6.9	1	20.0	0	0.0	2	7.4	0	0.0
未回答	1	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0



紙の本と電子図書のどちらを読みたいかという質問では、小学6年生の42.2%、中学2年生の60.3%、小学生保護者の63.0%、中学生保護者の66.7%が「紙の本」と答え最多となりましたが、小学3年生、高校生、年長児保護者では「どちらも読みたい」が最多となりました。全体的に、紙の本を中心に電子図書も読みたいという傾向が見られました。

問19. あなたはYouTubeなどの動画やSNSを見たり、ニンテンドースイッチなどのゲームをしますか。
問19-1. お子様はYouTubeなどの動画やSNSを見たり、ニンテンドースイッチなどのゲームをしますか。
(年長児保護者のみ)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	-	-

項目	年長児		小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
毎日している	7	23.3	59	<u>53.2</u>	106	<u>75.2</u>	102	<u>87.9</u>	54	<u>85.7</u>	20	<u>66.7</u>
時々している (週に2～3時間程度)	10	<u>33.3</u>	32	28.8	30	21.3	10	8.6	9	14.3	5	16.7
あまりしない (月に1～2時間程度)	4	13.3	11	9.9	5	3.5	1	0.9	0	0.0	3	10.0
しない	9	30.0	9	8.1	0	0.0	1	0.9	0	0.0	2	6.7
未回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.7	0	0.0	0	0.0

▲保護者回答

SNSやゲームを利用する頻度の質問では、年長児は「時々している」が33.3%で最も多く、次いで「毎日している」が23.3%という結果になりました。年長児を除く年代では「毎日している」が最も多く、学年が上がるにつれてその割合が高くなる傾向が見られます。

【問19または19-1で「毎日している」と答えた子どもへの質問】

問19-2. 毎日、どのくらいの時間していますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	-	-

項目	年長児		小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
30分まで	1	14.3	6	10.2	4	3.8	6	5.9	3	5.6
1時間まで	3	<u>42.9</u>	17	28.8	21	19.8	9	8.8	9	16.7
2時間まで	1	14.3	14	23.7	25	23.6	29	28.4	10	18.5
2時間以上	2	28.6	22	<u>37.3</u>	56	<u>52.8</u>	58	<u>56.9</u>	32	<u>59.3</u>

▲保護者回答

毎日のゲーム等の時間の質問では、年長児は「1時間まで」が最も多く42.9%でしたが、小中高校生は「2時間以上」が最も多く、また学年が上がるにつれてその割合が高くなる傾向が見られます。

【問19または19-1で「毎日している」と答えた子どもへの質問】

問19-3. 時間や場所など、家族と話し合ってルールを決めていますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	-	-

項目	年長児		小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
ルールを決めて守っている	5	<u>71.4</u>	36	<u>61.0</u>	59	<u>55.7</u>	51	<u>50.0</u>	20	37.0
ルールを決めているが守っていない	0	0.0	6	10.2	13	12.3	9	8.8	0	0.0
ルールを決めていない	2	28.6	17	28.8	34	32.1	42	41.2	34	<u>63.0</u>

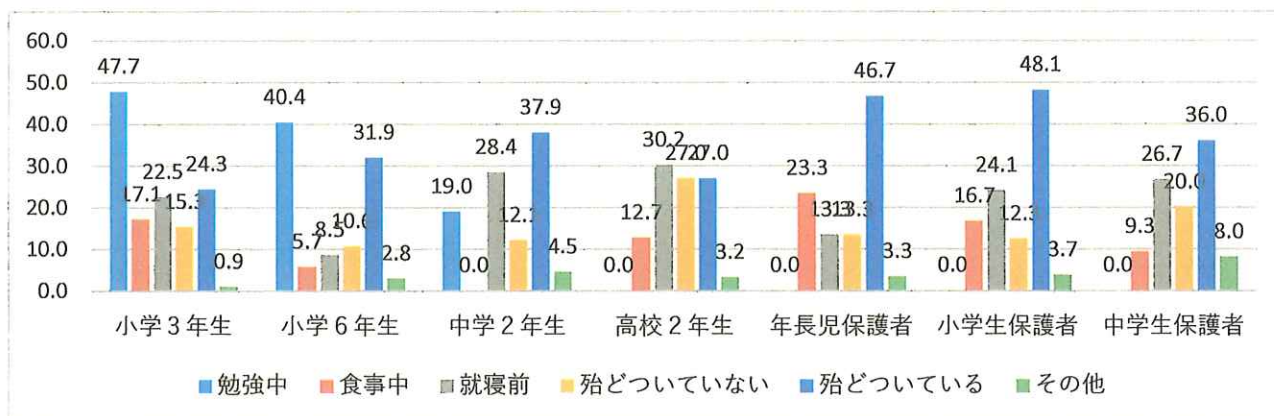
▲保護者回答

毎日のゲーム等の時間にルールを決めているかの質問では、年齢が上がるにつれてルールを「決めていない」と回答した割合が増えていくことがわかります。

問20. テレビをつけない時間帯を教えてください。
(複数回答可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
○	○	○	○	○	○	○

項目	小学3年生		小学6年生		中学2年生		高校2年生		年長児保護者		小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
勉強の時間	53	<u>47.7</u>	57	<u>40.4</u>	22	19.0	-	-	-	-	-	-	-	-
食事の時間	19	17.1	8	5.7	0	0.0	8	12.7	7	23.3	27	16.7	7	9.3
寝る前の1時間	25	22.5	12	8.5	33	28.4	19	<u>30.2</u>	4	13.3	39	24.1	20	26.7
ほとんどついていない	17	15.3	15	10.6	14	12.1	17	27.0	4	13.3	20	12.3	15	20.0
ほとんどついている	27	24.3	45	31.9	44	<u>37.9</u>	17	27.0	14	<u>46.7</u>	78	<u>48.1</u>	27	<u>36.0</u>
その他	1	0.9	4	2.8	3	4.5	2	3.2	1	3.3	6	3.7	6	8.0



テレビをつけない時間の質問では、小学生は「勉強の時間」の回答が最も多かったものの、全体的に「ほとんどついている」の回答割合が高い傾向があります。その他では「テレビが家がない」「テレビは動画を見るツールになっている」といった回答がありました。

問21 小さい時に、読み聞かせをしてもらいましたか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	-	-	-

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
はい	65	<u>56.0</u>	49	<u>77.8</u>
ときどき	40	34.5	12	19.0
いいえ	11	9.5	2	3.2

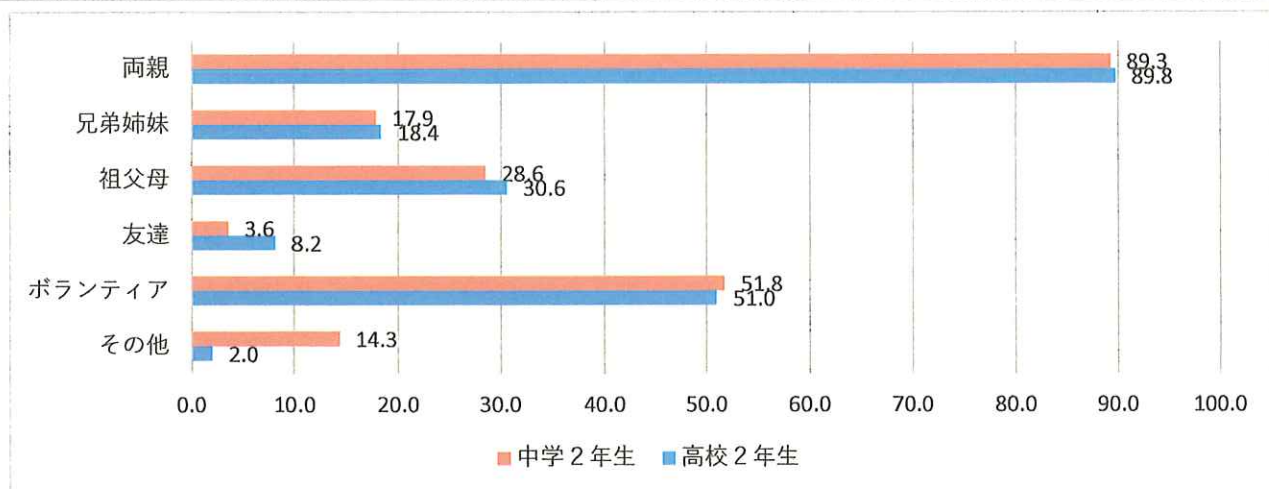
「小さい時に読み聞かせをしてもらいましたか」の質問では、中学生・高校生ともに50%以上が「はい」と回答しており、「ときどき」もあわせると、約90%の生徒が小さい時に読み聞かせをしてもらっていたことがわかります。

【問21で「はい」と答えた人への質問】

問22 読み聞かせは誰からしてもらいましたか。
(複数選択可)

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	-	-	-

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
お父さん・お母さん	50	<u>89.3</u>	44	<u>89.8</u>
兄弟姉妹	10	17.9	9	18.4
おじいちゃん・おばあちゃん	16	28.6	15	30.6
友達	2	3.6	4	8.2
読み聞かせボランティア	29	51.8	25	51.0
その他	8	14.3	1	2.0



「読み聞かせは誰からしてもらいましたか」の質問では、中学生・高校生とも約90%が「お父さん・お母さん」、次いで約50%が「読み聞かせボランティア」と回答しています。

問23 小学生の時に比べて、読書をしなくなったと思いますか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	-	-	-

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
思わない	13	11.2	10	15.9
特に変わらない	40	34.5	23	36.5
思う	63	<u>54.3</u>	30	<u>47.6</u>

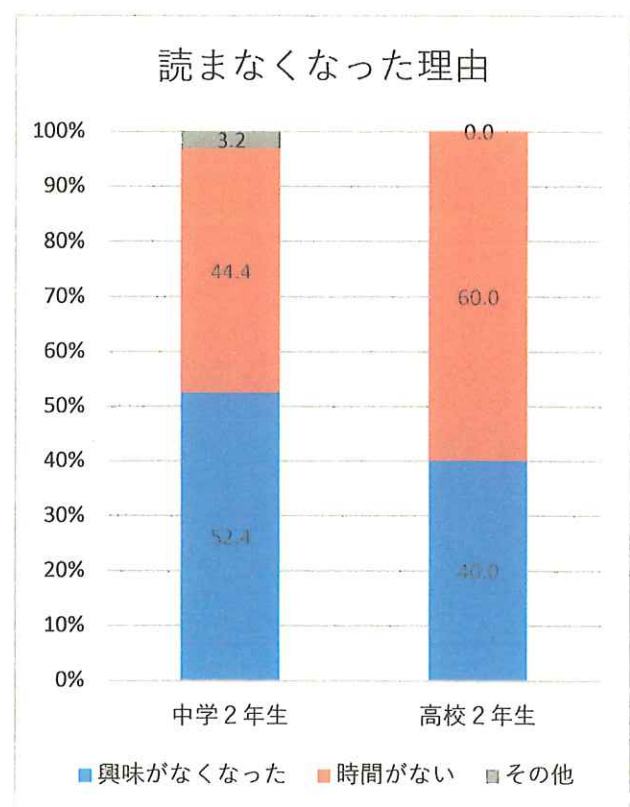
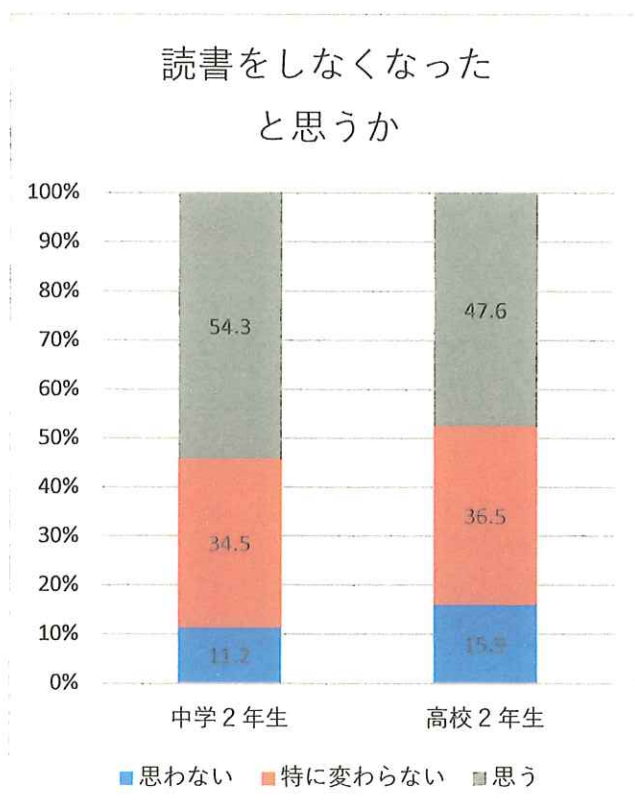
【問23で「思う」と答えた人への質問】

問24 読書をしなくなった理由は何ですか。

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長保護者	小学生保護者	中学生保護者
-	-	○	○	-	-	-

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数	(%)	回答数	(%)
興味がなくなった	33	<u>52.4</u>	12	40.0
時間がない	28	44.4	18	<u>60.0</u>
その他	2	3.2	0	0.0

読書をしなくなったと思いますかの質問では、中学生の54.3%、高校生の47.6%が「思う」と回答し、読書離れが進んでいることがわかります。また、その理由は中学生で「興味がなくなった」52.4%、高校生は「時間がない」が60.0%となっています。その他では「他のことに興味がわいて読書をしなくなった」という回答がありました。



その他、図書館や読書に関するご意見・ご要望等

対象者						
小3	小6	中2	高2	年長 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者
-	-	-	-	○	○	○

- ・いつもありがとうございます。
- ・図書館は静かな場所であるため、小さな子どもを連れて行きにくいです。連れて行ってみたいのですが、静かに読書ができるか不安な気持ちもあります。
- ・子供がまだ幼い頃は、図書館に行き、イベントに参加して、本を借りたり買ったりして読み聞かせは頻繁にしていました。21時まで布団に入ることができれば絵本を読んであげるよという約束でやっていました。今思うととても大切な時間でした。私も一緒にそのまま寝入ることも多かったです。今は上の子の部活動の関係で食事の時間も遅く、週末は特に朝から晩まで忙しく、絵本を読む機会はすっかりなくなっていました。上の子はマンガに小説、色々読んでいますが、下の子は全くです。私がもう少し頑張っておけば下の子も本好きになったのかもしれませんが。ただ、あの時間は鮮明に思い出せるくらい本当に素敵な時間でした。これからのママさんも毎日本当に忙しいと思うのですが、そんな大切な時間は持ち続けて欲しいと願います。後でわかる『かけがえのない時間』です。
- ・子供の新聞の種類を増やして欲しいです(全国版)
- ・調べものをする時はとても助かっています。ブックランド号を見かけますが、少し抵抗があり利用できませんが、子供達は直ぐに行きたがります。保育園の時からなのれでしょうね。
- ・小さい頃から図書館を利用させてもらっており、我が子はとても本が好きです。自分も好きな作家さんの本を読みたいと思いますが、仕事と家事で疲れてなかなか読書の時間を取ろうという気になれないのが残念です。
- ・子どもに本へ興味を持って欲しいが、メディアの影響が大きすぎて修正できないです
- ・送迎バスなどあれば皆もっと利用するのかもしれませんが。
- ・長男が赤ちゃんの時から利用させていただいています。子どもスペースも子供の時間もありとても良い図書館だと思っています。イベントも面白く、今でも部活の閑散期は参加させて頂いています。成長した息子は今はアニメの小説を学校から借ります。(ハイキューの小説など) 絵本の読み聞かせ会で絵本に馴染む環境を作って頂いたボランティアの方々、図書館の方々には感謝しております。
- ・コミセンに 常時誰でも利用できるミニ図書館みたいなものがあるといい
- ・現在学校で朝読書の時間が設けられていてとてもいいと思う。中学生になると中々本を読む機会が減るので、この時間は非常にありがたい。読書時間と国語力は比例すると思うのでこれからもぜひ続けてほしい
- ・親が読書していれば、自然と読書します。コミセンにも、小さな図書館をつくってほしいです。

資料 2

えびの市読書活動の実施状況（令和6年度）

学校名	一斉読書活動		外部読み聞かせ	
	実施	実施なし	実施	実施なし
小学校	4校	1校	4校	1校
中学校	3校	1校	0校	4校

令和6年度学校図書館及び読書に関する調査(宮崎県教育庁義務教育課)より集計

資料 3

学校図書館蔵書数等

(令和6年度末現在)

学校名	学級数	蔵書数	図書標準達成率	図書標準冊数	児童生徒数
飯野小学校	14	10,290	117.5%	8,760	321
上江小学校	6	5,803	114.2%	5,080	73
加久藤小学校	8	7,866	130.2%	6,040	184
真幸小学校	7	7,913	142.3%	5,560	150
岡元小学校	3	3,595	102.1%	3,520	12
小学校合計	38	35,467	122.5%	28,960	740
飯野中学校	8	7,973	94.0%	8,480	194
上江中学校	3	6,251	114.9%	5,440	37
加久藤中学校	5	6,958	103.5%	6,720	99
真幸中学校	4	6,176	101.6%	6,080	100
中学校合計	20	27,358	102.4%	26,720	430

資料 4

移動図書館車 運行スケジュール

(令和6年度末現在)

ルート	運行日	巡回場所
ルートA1	第1・3水曜日	岡元小学校→さくら苑
ルートA2	第1・3木曜日	上江小中学校→Aコープかくとう →加久藤地区体育館
ルートA3	第1・3金曜日	飯野地区コミュニティセンター →なかよし認定こども園
ルートA4	第2・4水曜日	真幸地区体育館→真幸認定こども園
ルートA5	第2・4木曜日	加久藤保育園
ルートA6	第2・4金曜日	えびの市役所飯野出張所→陸上自衛隊官舎

市民図書館蔵書数及び貸出の状況

○蔵書数の状況(令和6年度)

単位:冊

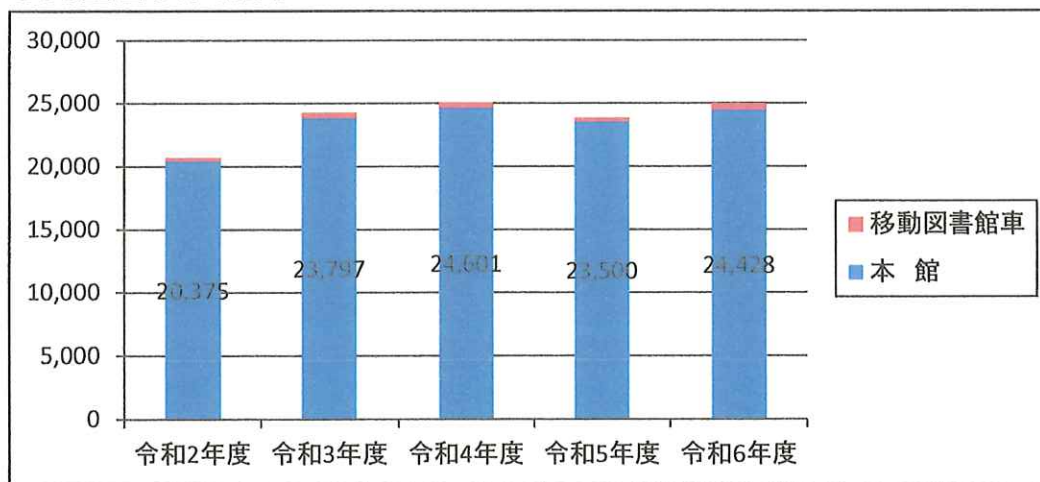
	書籍	電子図書
一般書	97,776 (70.6%)	245 (46.1%)
児童書	40,715 (29.4%)	286 (53.9%)
うち絵本	12,581	50
うち紙芝居	1,487	-
合 計	138,491	531

○図書貸出の状況(令和6年度)

(単位:冊)

	貸出数	うち児童書
個人貸出	54,289	24,983 (46.0%)
本館貸出	52,528	24,428 (46.5%)
BM貸出	1,761	555 (31.5%)
団体貸出	30,183	25,056 (83.0%)
合 計	84,472	50,039 (59.2%)

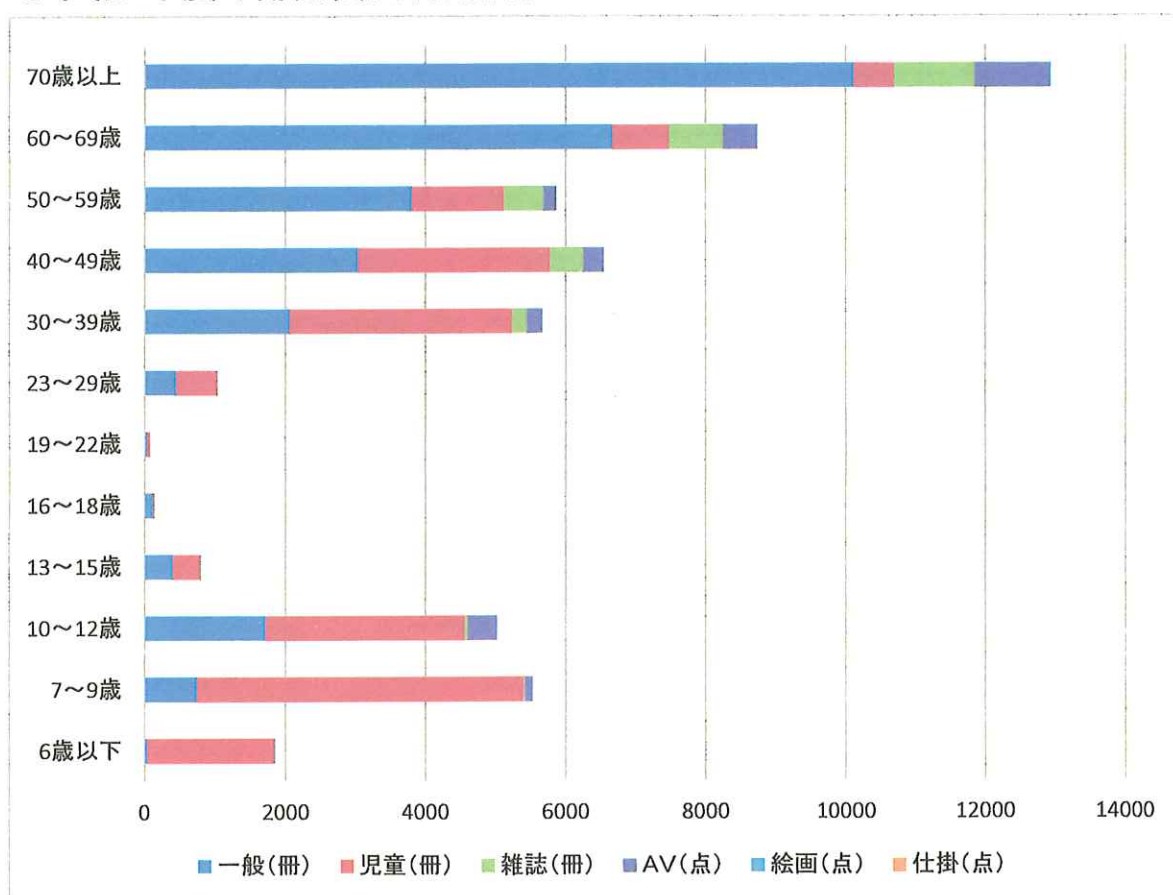
○児童書貸出推移



(単位:冊)

	本 館	移動図書館車	合 計
令和2年度	20,375	325	20,700
令和3年度	23,797	477	24,274
令和4年度	24,601	452	25,053
令和5年度	23,500	337	23,837
令和6年度	24,428	555	24,983

○令和6年度年齢別貸出利用状況



年齢	一般(冊)	児童(冊)	雑誌(冊)	AV(点)	絵画(点)	仕掛(点)	合計
6歳以下	46	1,789	2	15	0	0	1,852
7～9歳	741	4,667	19	106	0	0	5,533
10～12歳	1,712	2,860	40	418	0	0	5,030
13～15歳	411	379	6	4	0	0	800
16～18歳	124	15	1	1	0	0	141
19～22歳	44	38	6	0	0	0	88
23～29歳	452	575	6	3	0	0	1,036
30～39歳	2,066	3,178	208	217	0	0	5,669
40～49歳	3,031	2,747	477	291	0	2	6,548
50～59歳	3,800	1,325	565	175	0	3	5,868
60～69歳	6,672	818	757	484	11	2	8,744
70歳以上	10,111	588	1,157	1,081	1	0	12,938
年齢なし	0	0	0	0	0	0	0
団体	4,325	24,699	1,095	4	59	0	30,182
仮登録	0	0	0	0	0	0	0
合計	33,535	43,678	4,339	2,799	71	7	84,429

【参考】 宮崎県の児童生徒の不読者率

「学校図書館及び読書に関する調査」(宮崎県調査)による

※ R2の全国調査は、小中学校共に新型コロナウイルス感染症により中止

※ R2のみ県数値は9月の読書冊数

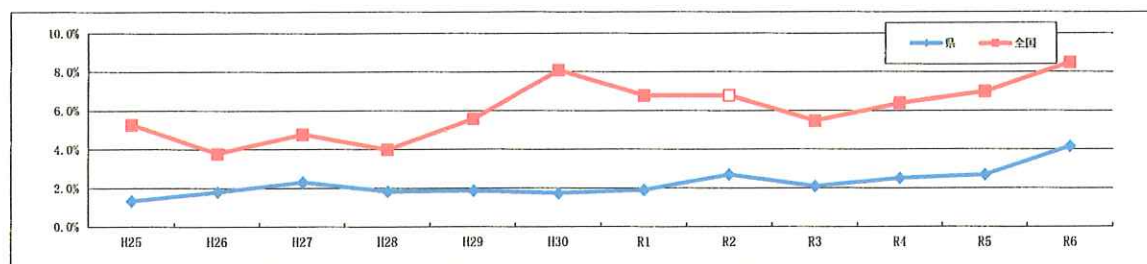
新型コロナウイルス感染症対策のため5月から9月に実施

《小学校》

(冊)

学年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1年	0.3%	0.2%	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.2%	0.3%	0.5%	0.6%	0.4%	0.9%
2年	0.9%	0.9%	1.5%	1.0%	1.0%	0.9%	1.1%	1.1%	0.8%	1.5%	1.2%	1.2%
3年	1.2%	2.1%	2.2%	1.6%	2.2%	1.6%	1.7%	1.9%	0.9%	1.5%	2.3%	2.9%
4年	1.7%	1.9%	2.7%	2.1%	1.4%	1.8%	2.1%	2.7%	2.9%	2.1%	2.3%	3.2%
5年	1.4%	2.5%	3.3%	2.7%	2.7%	2.6%	3.2%	4.2%	2.9%	4.3%	4.0%	6.3%
6年	2.4%	3.2%	3.9%	3.2%	3.5%	2.9%	3.2%	5.7%	4.5%	4.9%	5.7%	9.8%
県平均	1.3%	1.8%	2.3%	1.8%	1.9%	1.7%	1.9%	2.7%	2.1%	2.5%	2.7%	4.2%
全国	5.3%	3.8%	4.8%	4.0%	5.6%	8.1%	6.8%	未実施	5.5%	6.4%	7.0%	8.5%

※ 全国読書調査(全国学校図書館協議会・毎日新聞社の調査)による

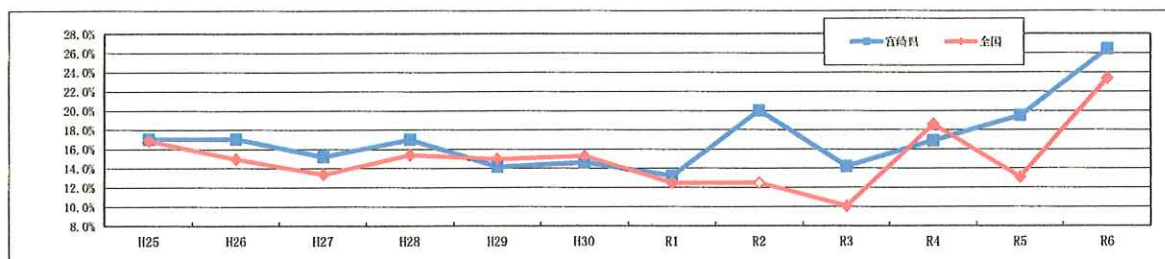


《中学校》

(冊)

学年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1年	8.5%	7.0%	5.6%	7.5%	5.8%	5.6%	4.6%	11.3%	7.7%	9.9%	11.5%	17.7%
2年	13.0%	14.0%	10.7%	13.1%	10.2%	11.4%	11.2%	15.7%	11.5%	16.8%	19.0%	27.9%
3年	28.6%	30.2%	28.8%	29.7%	26.0%	26.2%	23.7%	33.6%	23.7%	23.9%	27.9%	33.7%
県平均	17.0%	17.0%	15.2%	17.0%	14.2%	14.6%	13.2%	20.0%	14.2%	16.9%	19.5%	26.4%
全国	16.9%	15.0%	13.4%	15.4%	15.0%	15.3%	12.5%	未実施	10.1%	18.6%	13.1%	23.4%

※ 全国読書調査(全国学校図書館協議会・毎日新聞社の調査)による



資料 7

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日

法律 第 154号

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることに鑑み、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍などの提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関などとの連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進状況を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策の計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動について感心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子どもの読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の処置等）

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

資料 8

子どもの読書活動の推進に関する法律案に対する附帯決議(衆議院)

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館などの整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館などが図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

資料 9

えびの市子ども読書活動推進委員会設置要綱

(平成 18 年 3 月 31 日えびの市教育委員会告示第 12 号)

(設置)

第 1 条 本市における子どもの読書活動の総合的かつ効果的な推進を図るため、えびの市子ども読書活動推進委員会(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 推進委員会は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的な企画及び推進に関すること。
- (2) 子どもの読書活動に関する実態把握及び調査研究に関すること。
- (3) 子ども読書活動推進計画の進捗状況の検証に関すること。
- (4) その他、子どもの読書活動の推進に関し、必要な事項

(構成)

第 3 条 推進委員会は、委員 15 人以内で構成し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 幼稚園・保育園関係者
- (4) 読書活動ボランティア
- (5) 一般公募による者
- (6) 子どもに関係する業務を所管する市の課等の代表者

(委員)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員の互選により、推進委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、会務を総理し、推進委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、会長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 推進委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

2 推進委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことはできない。

(庶務)

第 7 条 推進委員会の庶務は、社会教育課において行う。

(補則)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会に必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

えびの市子ども読書活動推進委員名簿

(任期:令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職 名	氏 名	所 属		備考
委 員	吉岡 知美	幼稚園・保育園・ 認定こども園代表	真幸認定こども園	
委 員	紫雲 宣子	ボランティア代表	えびの朗読会	
委 員	松永 裕美	中学校代表	真幸中学校	
委 員	千本 泰史	高校代表	飯野高校	
委 員	中村 充子	小学校代表	上江小学校	
委 員	坊野 健太	PTA連絡協議会代表	上江小中学校	R7.4.25～
委 員	富田 和美	一般代表		
委 員	福島 繭子	学校教育課	学校図書館支援員	R7.4.1～
委 員	津田 栞	こども課	保健師	
委 員	谷川 みく	えびの市民図書館	館長	R7.4.1～

事務局	西峯 由美	社会教育課	課長	
	松下 理恵	社会教育課	社会教育係長	